

楽天証券株式会社 2018年12月期上半期決算説明資料

2018年11月1日

楽天証券株式会社

目次

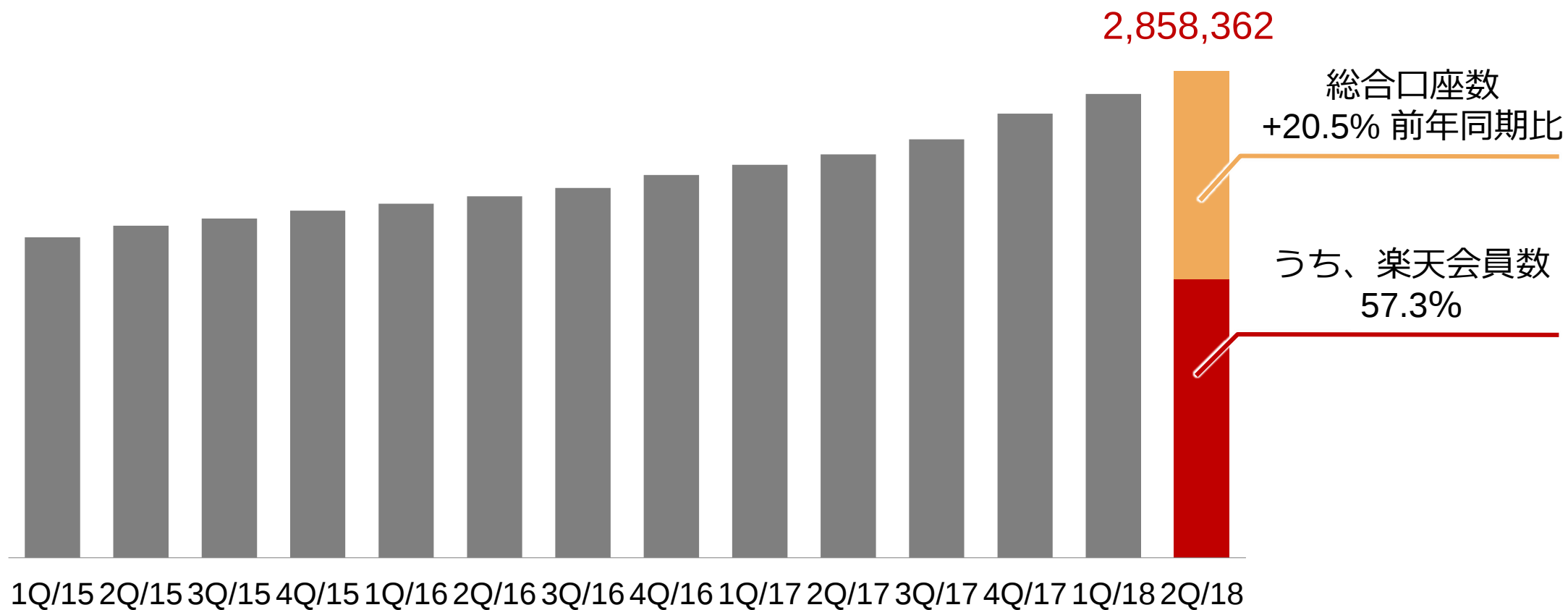
- 1. 2018年12月期上半期 決算概要**
- 2. 2018年12月期上半期 事業の状況**
- 3. 戦略・施策**

1. 2018年12月期上半期 決算概要

総合口座

- 総合口座数は2.8百万口座を突破し、さらに顧客数を拡大

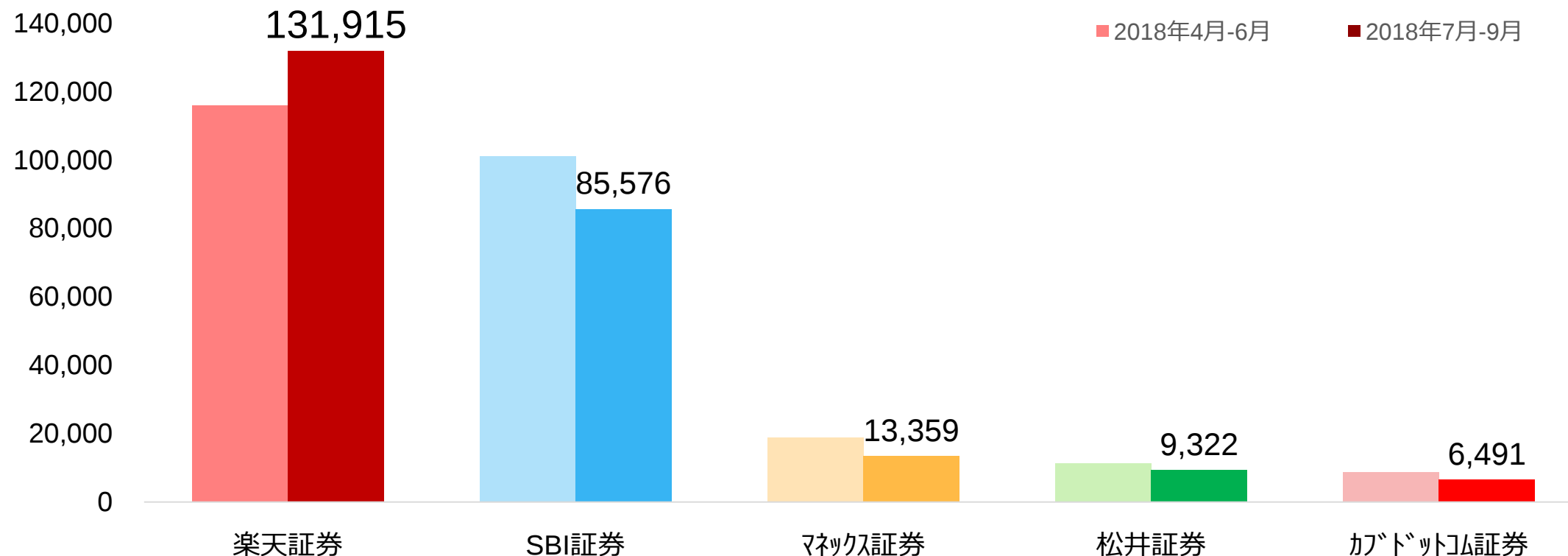
(単位：口座数)



新規口座

■ 2018年第2四半期で13万口座の総合口座増加となり、顧客基盤がさらに拡大

(単位：口座数)



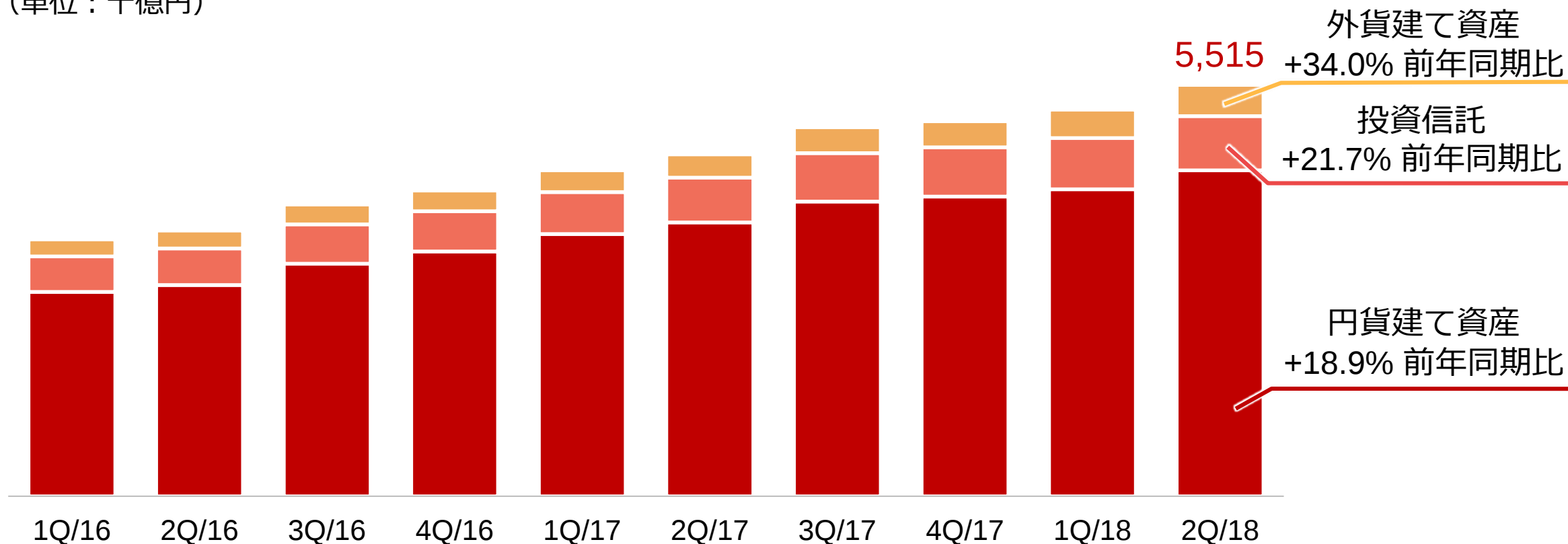
*出所：各社ウェブサイト上での公開情報により当社集計

*マネックス証券口座数：証券口座とFX専用口座の合計数

預り資産

- 顧客層の拡大及び株式市況の回復に伴い預り資産は5.5兆円突破、前年同期比で+20.3%

(単位：十億円)



*投資信託には外貨建てMMFを含む。*円貨建て資産には投資信託を除く、楽天銀行マネーブリッジ自動スweep分含む

*外貨建て資産には各種通貨建て預かり金・外国債券・外国株式・海外先物証拠金（ドル建て）を含む

2018年12月期上半期 連結業績

- 営業収益は金融収益の増加、FX収益の増加等の要因により、前年同期比で+16.8%

(単位：百万円)

	2018年3月期上半期 (2017年4月~2017年9月)	2018年12月期上半期 (2018年4月~2018年9月)	前年同期比 増減率
営業収益	25,287	29,539	+ 16.8 %
純営業収益	23,821	28,008	+ 17.6 %
販売費・ 一般管理費	14,890	17,626	+ 18.4 %
営業利益	8,931	10,382	+ 16.2 %
経常利益	8,689	10,079	+ 16.0 %
四半期純利益	6,075	6,976	+ 14.8 %

2018年12月期上半期 連結販売費・一般管理費

- 新規顧客獲得増のため、広告宣伝費は前年同期比で増加
- 取引ボリュームの回復に伴い、取引関係費が増加

(単位：百万円)

	2018年3月期上半期 (2017年4月~2017年9月)	2018年12月期上半期 (2018年4月~2018年9月)	前年同期比 増減率
販売費・一般管理費	14,890	17,626	+18.4%
取引関係費	6,395	8,169	+27.7%
(うち広告宣伝費)	1,196	1,995	+66.8%
人件費	2,046	2,292	+12.0%
不動産関係費	818	961	+17.5%
事務費	2,367	2,671	+12.8%
減価償却費	2,580	2,855	+10.7%
その他	682	676	▲0.9%

2018年12月期上半期 主要オンライン証券 業績比較

	(単位：百万円)				
	楽天証券 (連)	SBI証券 (連)	松井証券 (非連)	マネックスG (IFRS)	カブドットコム証券 (非連)
営業収益	29,539	60,394	14,389	26,400	10,927
前年同期比	+16.8%	+14.2%	▲1.4%	+7.3%	▲4.0%
販管費・ 一般管理費	17,626	28,792	5,990	22,193	5,711
前年同期比	+18.4%	+14.0%	+2.3%	+14.7%	▲14.2%
営業利益	10,382	27,942	7,787	1,652	3,766
前年同期比	+16.2%	+21.8%	▲2.6%	▲46.7%	+31.8%
経常利益	10,079	27,885	7,869	1,830	3,825
前年同期比	+16.0%	+21.4%	▲2.3%	▲39.2%	+31.7%
四半期純利益	6,976	19,223	5,465	1,745	2,682
前年同期比	+14.8%	+20.4%	▲1.9%	▲13.4%	+3.6%

*出所：各社開示資料より当社にて集計。SBI証券、松井証券、マネックスG及びカブドットコム証券は2019年3月期上半期。

*マネックスGはIFRS導入。比較目的の為、営業利益は「営業利益相当額」、経常利益は「税引前四半期利益」を記載

2018年12月期第2四半期 主要オンライン証券 業績比較

	(単位：百万円)				
	楽天証券 (連)	SBI証券 (連)	松井証券 (非連)	マネックスG (IFRS)	カブドットコム証券 (非連)
営業収益	14,920	29,849	6,927	12,788	5,150
前期比	+2.1%	▲2.3%	▲7.2%	▲6.1%	▲10.8%
販管費・ 一般管理費	9,015	14,305	2,984	10,937	2,902
前期比	+4.7%	▲1.3%	▲0.7%	▲2.8%	+3.3%
営業利益	5,109	13,522	3,651	549	1,637
前期比	▲3.1%	▲6.2%	▲11.7%	▲50.2%	▲23.1%
経常利益	4,971	13,497	3,653	700	1,648
前期比	▲2.7%	▲6.2%	▲13.4%	▲38.1%	▲24.3%
四半期純利益	3,487	9,297	2,535	549	1,138
前期比	▲0.1%	▲6.3%	▲13.5%	▲54.1%	▲26.3%

*出所：各社開示資料より当社にて集計。SBI証券、松井証券、マネックスG及びカブドットコム証券は2019年3月期上半期。

*マネックスGはIFRS導入。比較目的の為、営業利益は「営業利益相当額」、経常利益は「税引前四半期利益」を記載

2018年12月期第2四半期 主要オンライン証券 主要指標比較

	楽天証券	SBI証券	松井証券	マネックスG	カブドットコム証券
株式売買代金 (単位：十億円)	12,614	24,393	6,730	3,466	5,853
前年同期比	+12.8%	+1.2%	▲14.5%	▲3.2%	▲3.4%
信用取引残高 (単位：十億円)	436	914	284	178	301
前年同期比	+12.2%	+7.1%	+0.6%	+9.1%	▲1.1%
投資信託残高 (単位：十億円)	894	1,860	11	419	170
前年同期比	+19.8%	+27.9%	-	+9.0%	+5.3%
FX収益 (単位：百万円)	2,943	1,879	235	666	302
前年同期比	+150.7%	+29.2%	+14.6%	+2.8%	▲13.2%

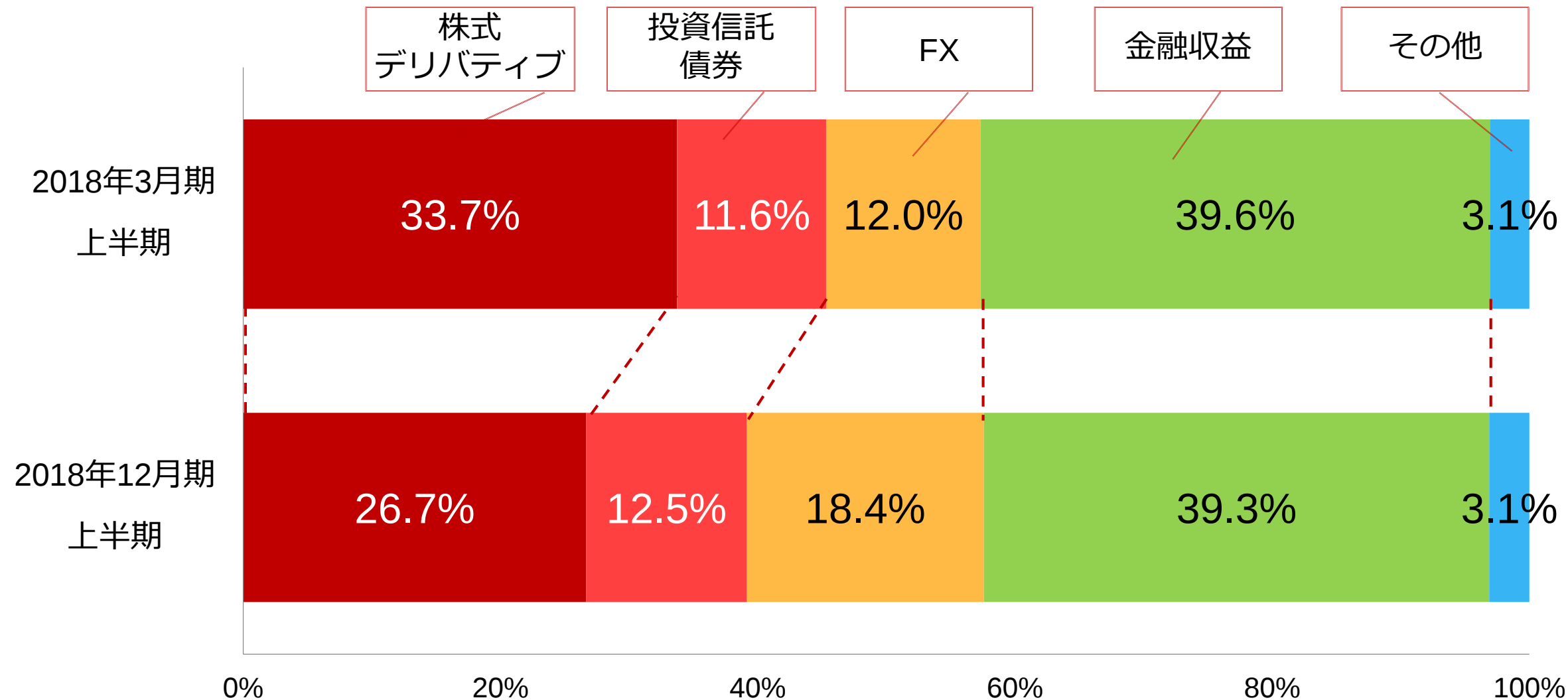
*出所：各社開示資料より当社にて集計。SBI証券、松井証券、マネックスG及びカブドットコム証券は2019年3月期第2四半期。

*当社及びSBI証券のFX収益は単体数値、マネックスGは日本セグメント数値。

*SBI証券の投資信託残高には、上場投資信託、MMF、中国ファンド及び対面口座分の預かりを含む

*当社投資信託残高は株式投信、国内外ETFを含み、外貨MMFを除く **11**

収益の分散化状況

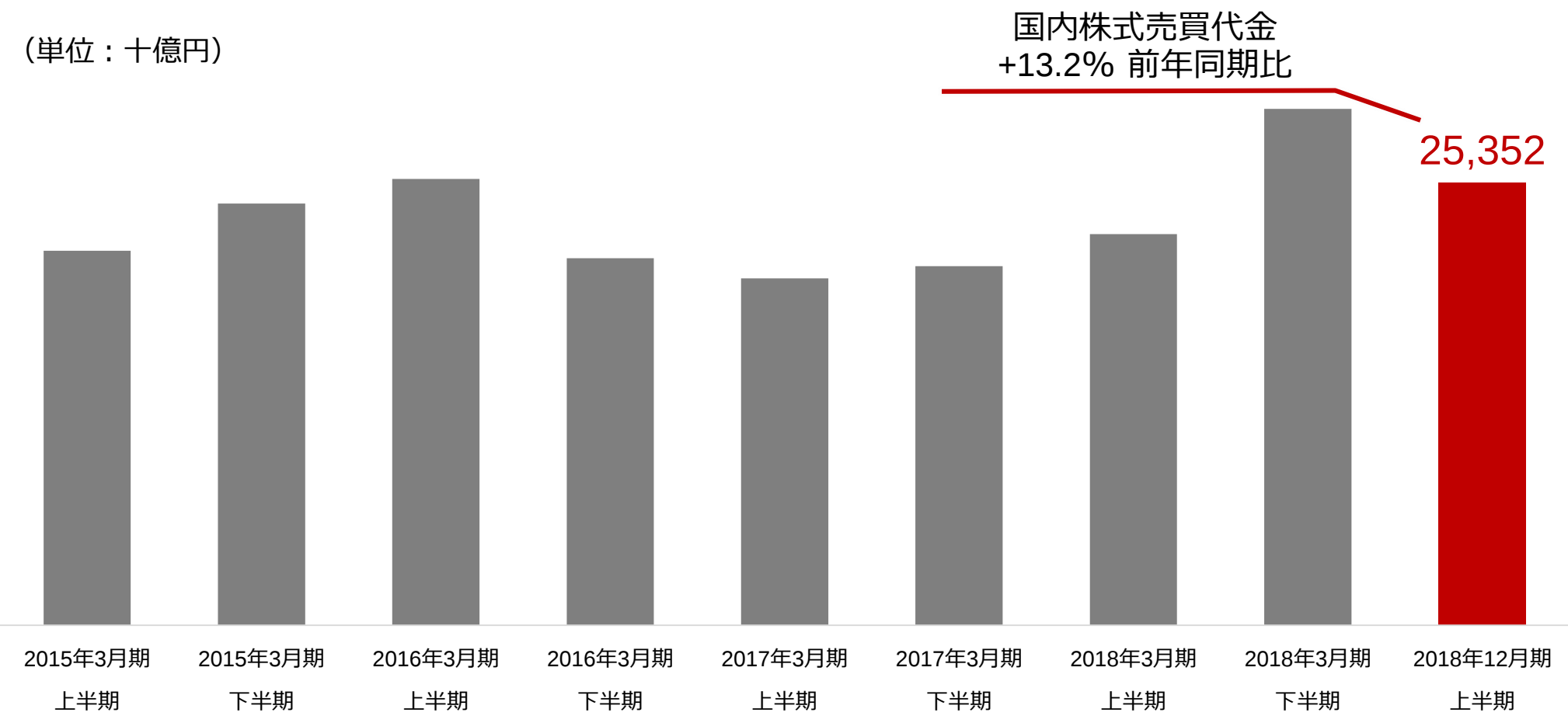


*割合は当社単体数値

2. 2018年12月期上半期 事業の状況

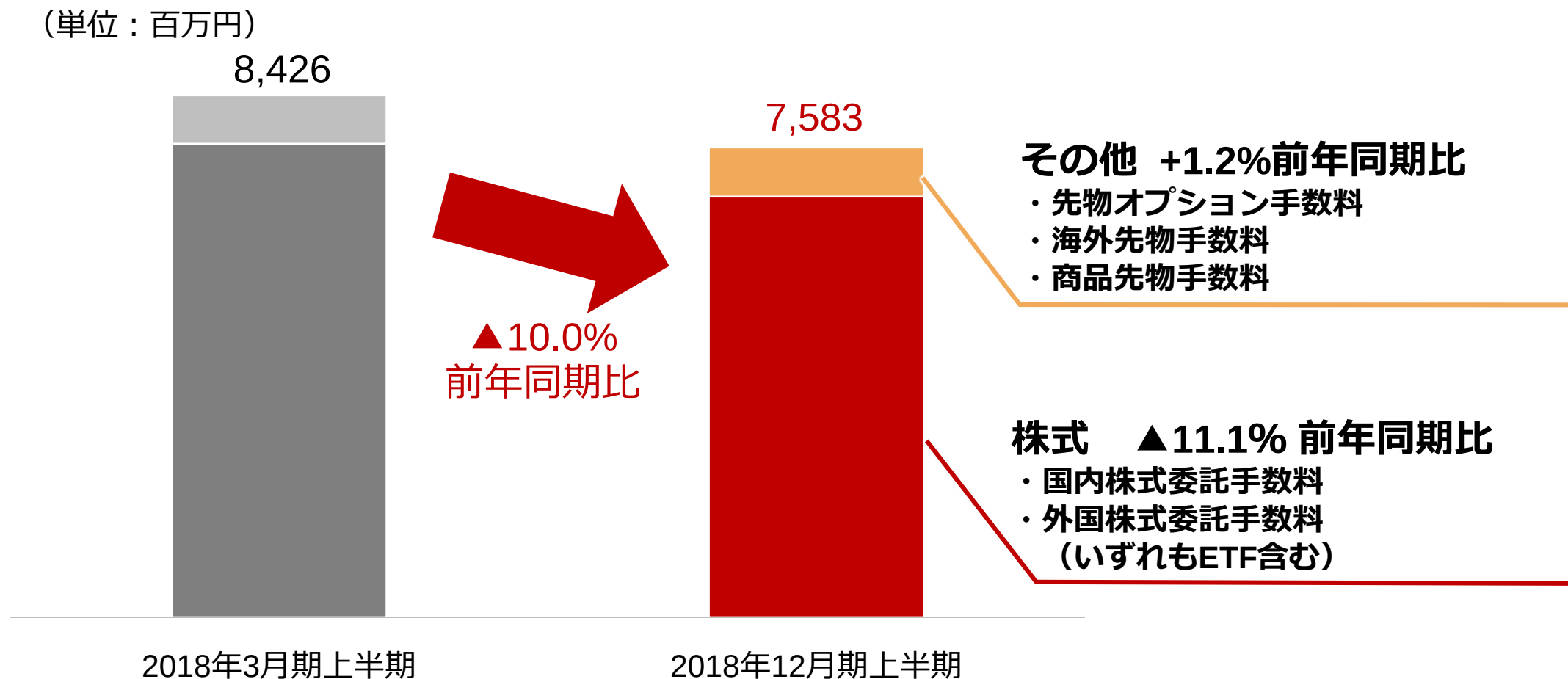
国内株式売買代金

■ 国内株式売買代金は国内株式市場が堅調なことから前年同期比+13.2%増加



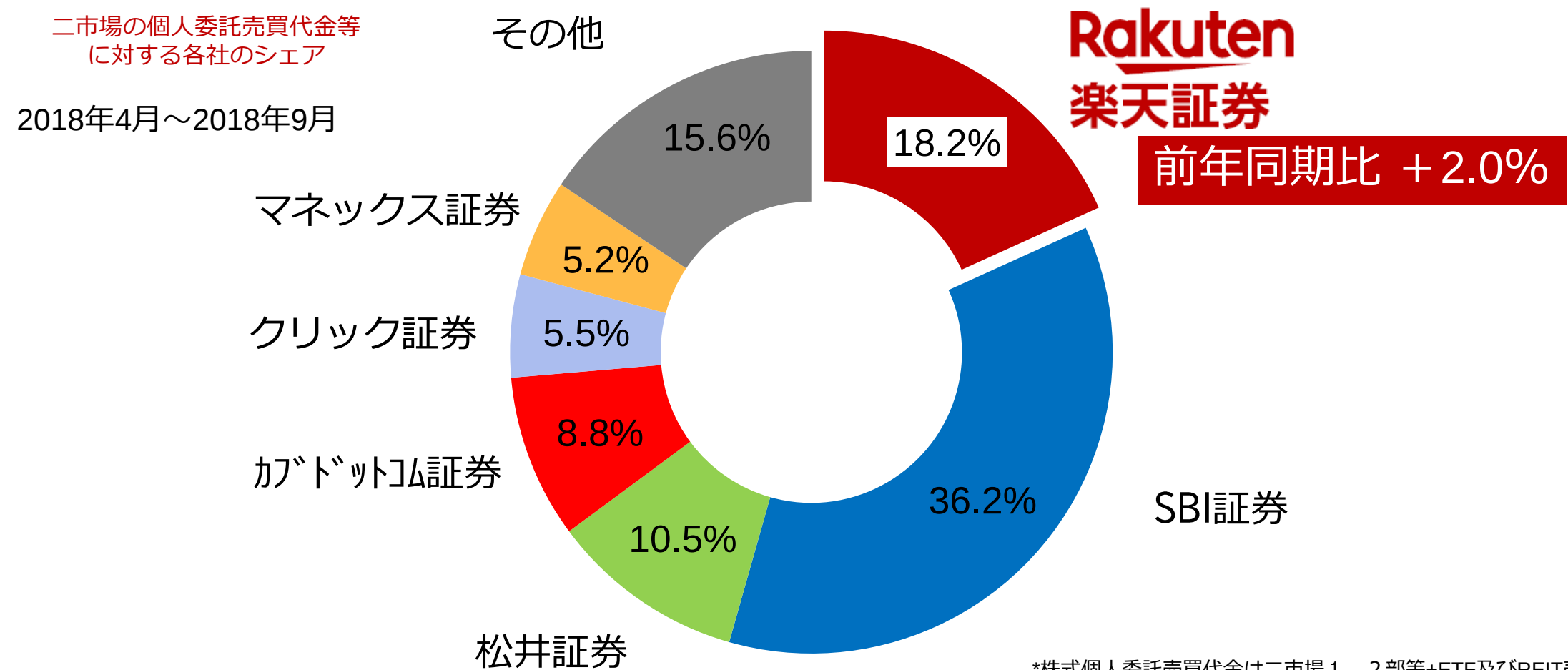
委託手数料

- 委託手数料は前年12月の手数料引き下げの影響もあり、前年同期比▲10.0%



国内株式 委託個人売買代金シェア

■ 国内株式の委託個人売買代金の業界シェアは前年同期16.2%から18.2%に拡大



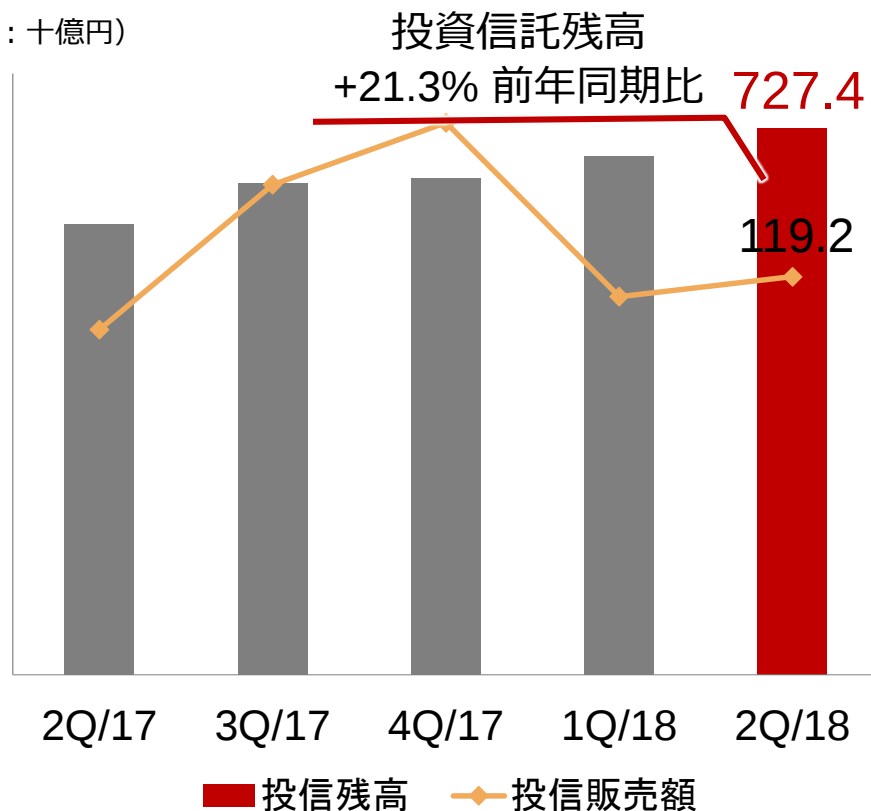
*株式個人委託売買代金は二市場 1, 2 部等+ETF及びREIT売買代金
*出所：東京証券取引所開示資料及び各社ウェブサイト上での公開情報により当社集計

投資信託

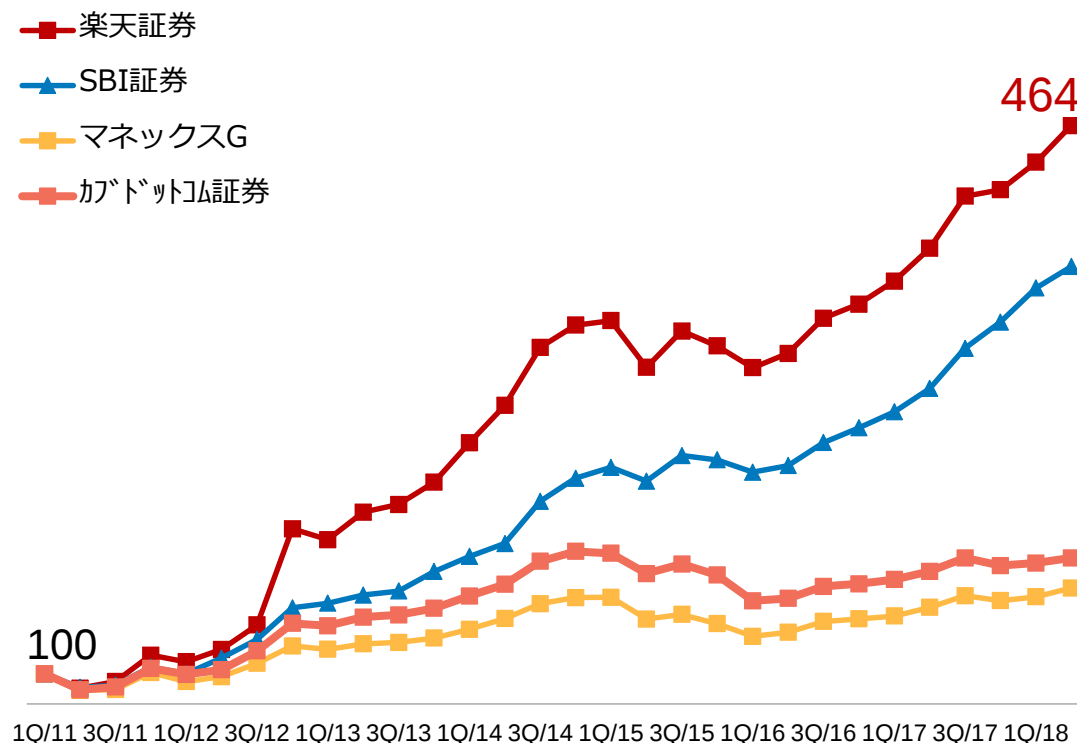
- 投資信託残高は堅調に積みあがり、前年同期比+21.3%
- 2018年第2四半期の投資信託販売額は前年同期比+15.4%

投資信託残高・販売額推移

(単位：十億円)



投資信託残高推移



出所：各社ウェブサイト等での公開情報をもとに弊社にて指数化

*楽天証券投資信託残高及び販売額には国内外MMFを含む国内外ETFを除く。

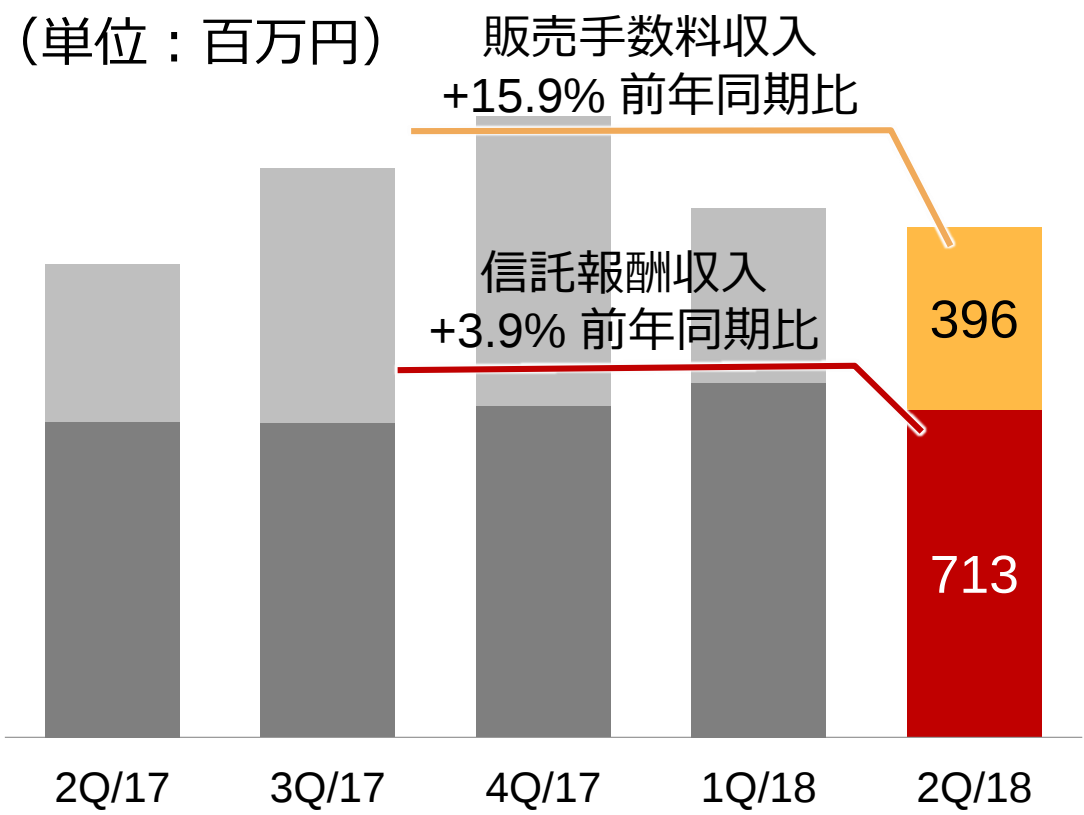
*SBI証券は上場投資信託、MMF、中国ファンド及び対面口座分預りを含む

*マネックスGは日本セグメントの数値、投資信託は株式投信、外国投信、公社債投信（外貨建MMFを含む）の合計

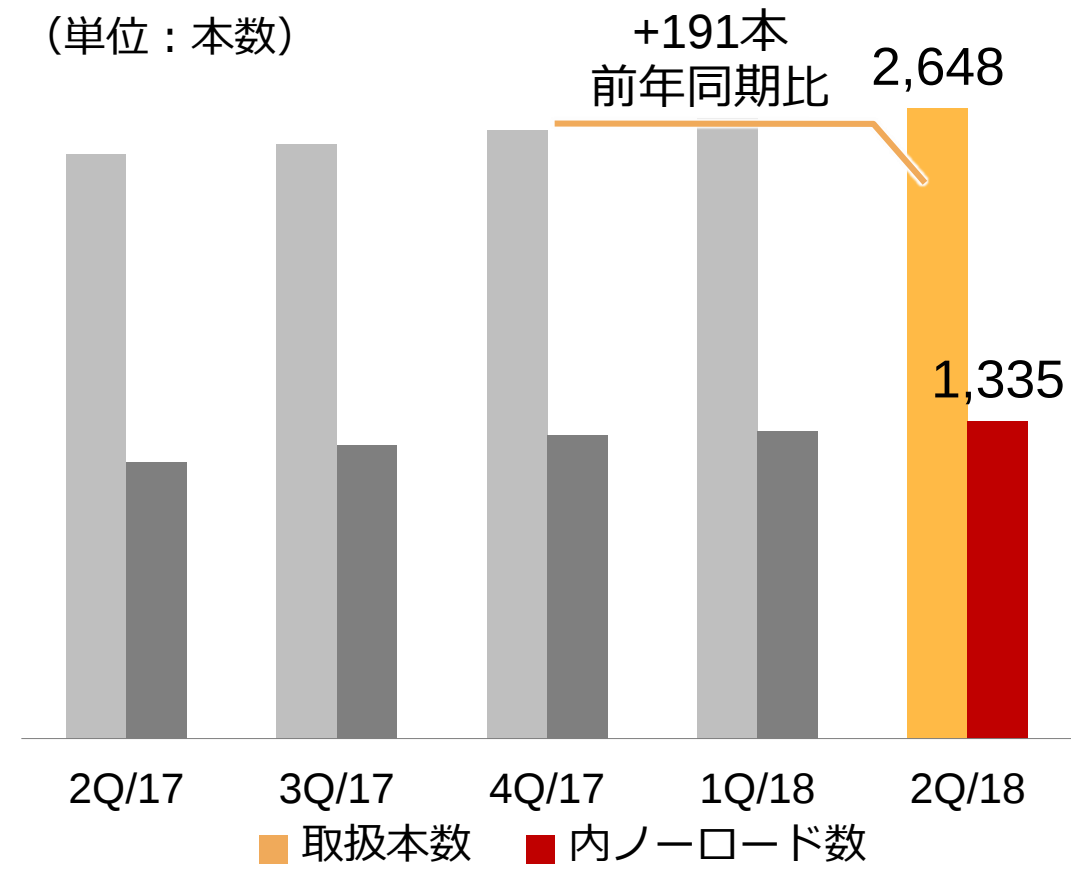
投資信託

■ 2018年第2四半期の投資信託関連収益は前年同期比で+7.9%増加

投資信託関連収益



投資信託取扱い本数

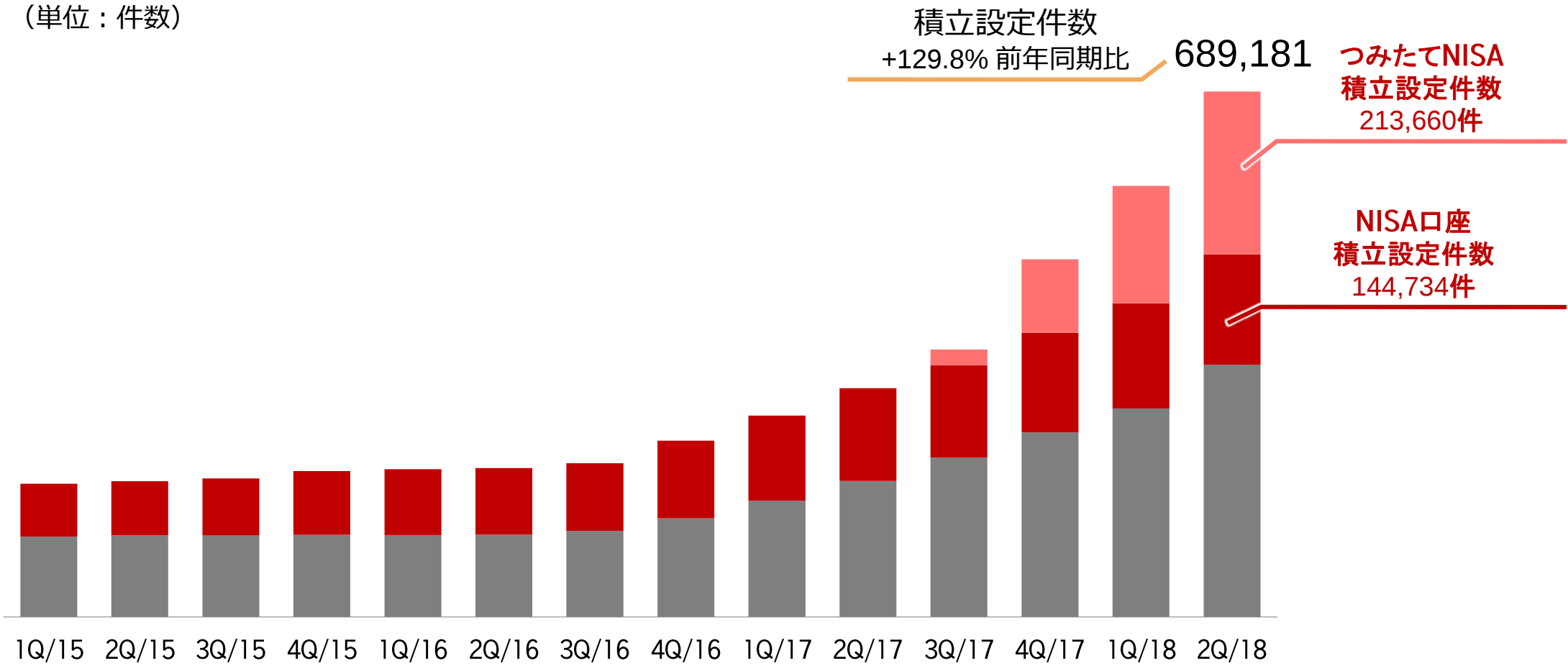


投資信託

■ つみたてNISAが大きく貢献し、設定件数は前年同期比129.8%増

積立設定件数推移

(単位：件数)

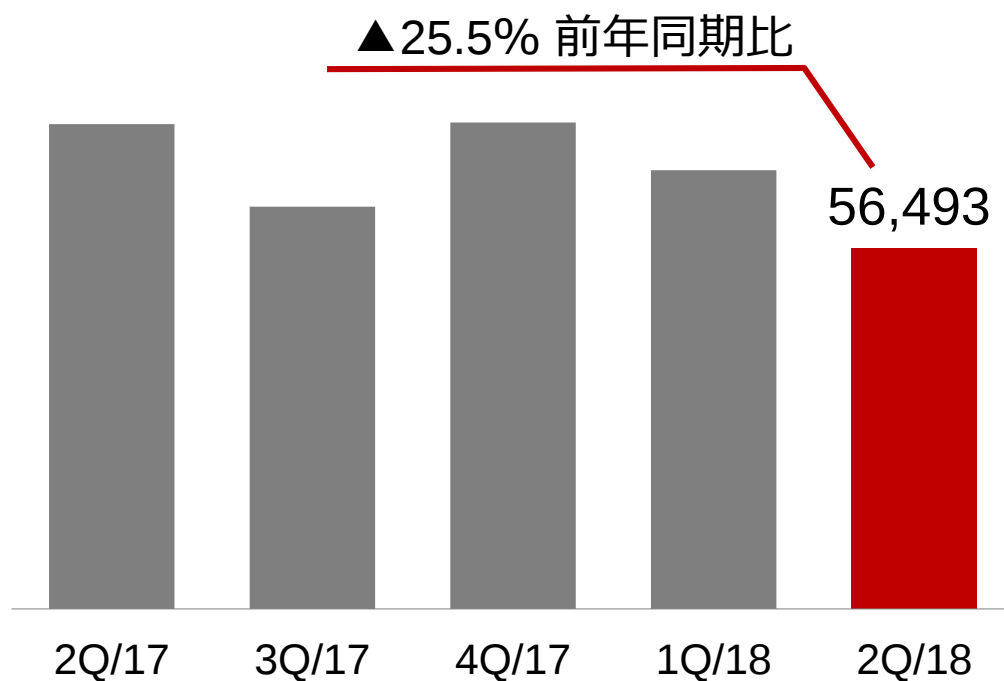


FX

- 2018年第2四半期のFX収益は大幅増加となり、前年同期比+150.7%増

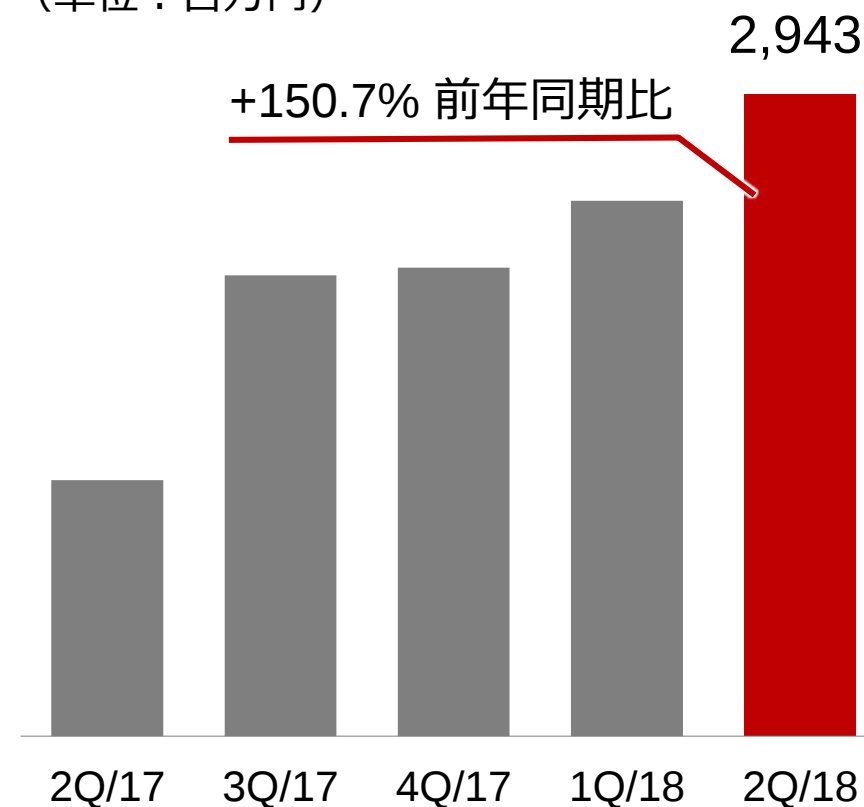
FX売買代金推移

(単位：十億円)



FX収益推移

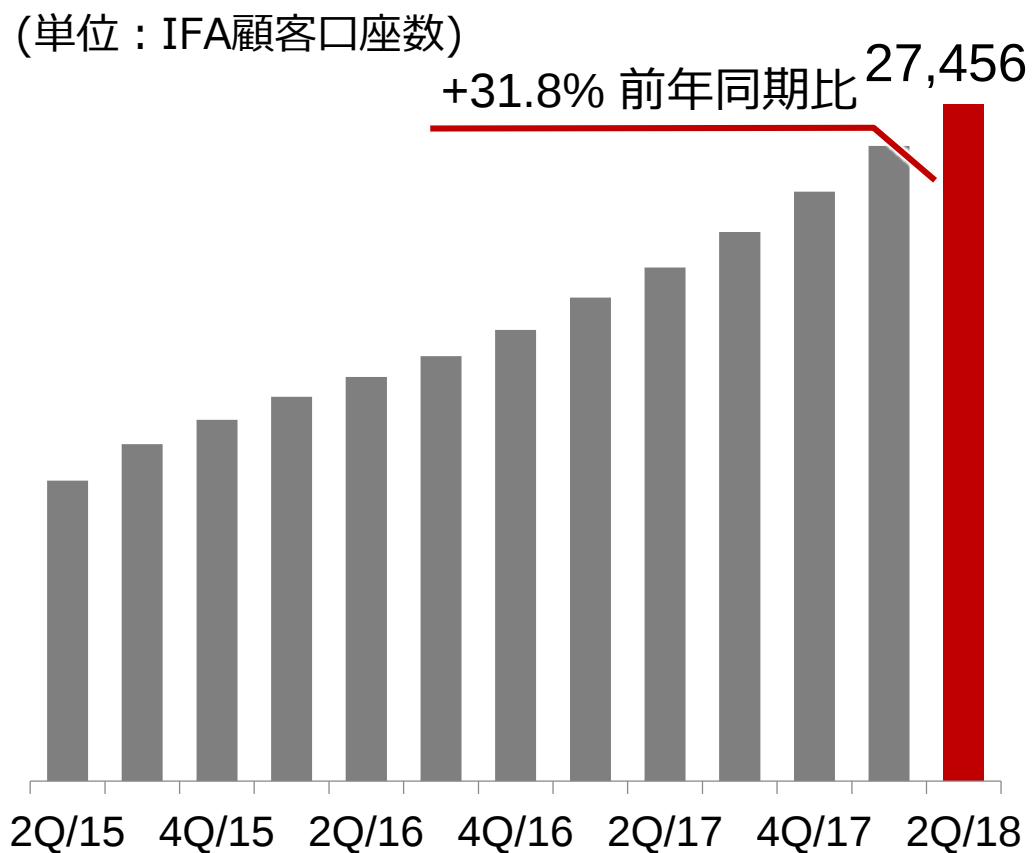
(単位：百万円)



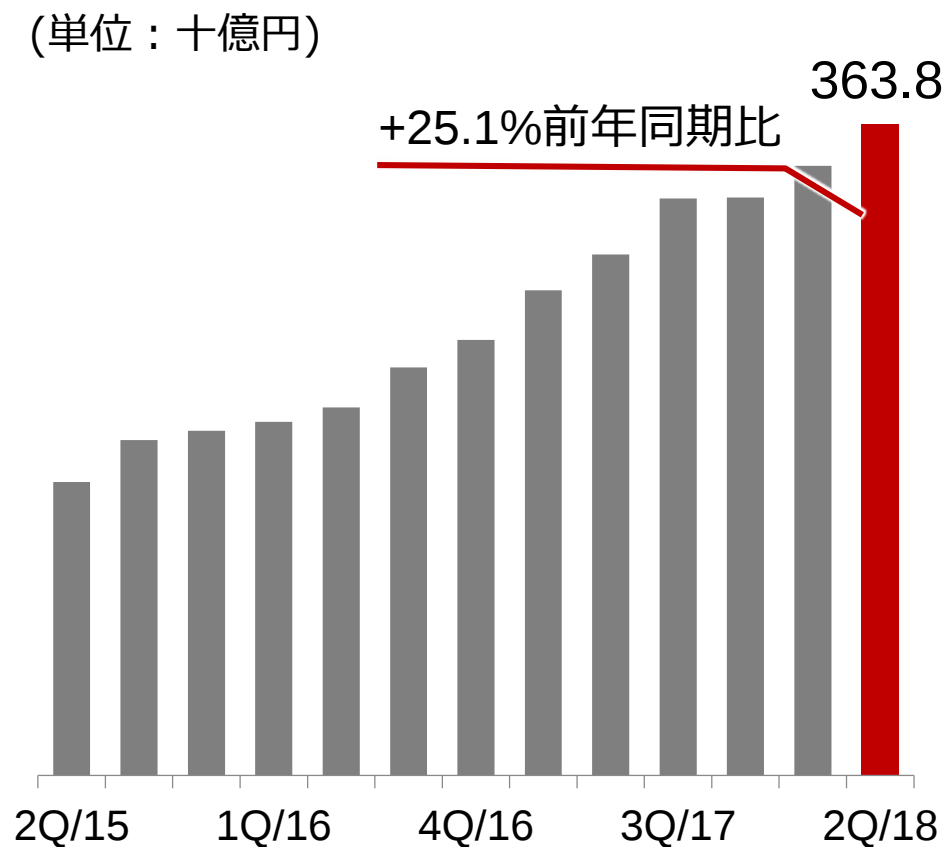
IFAビジネス

- IFA経由の顧客口座は順調に増加。顧客預り資産は9月末に3,600億円突破

IFA顧客数推移



IFA経由顧客預り資産残高



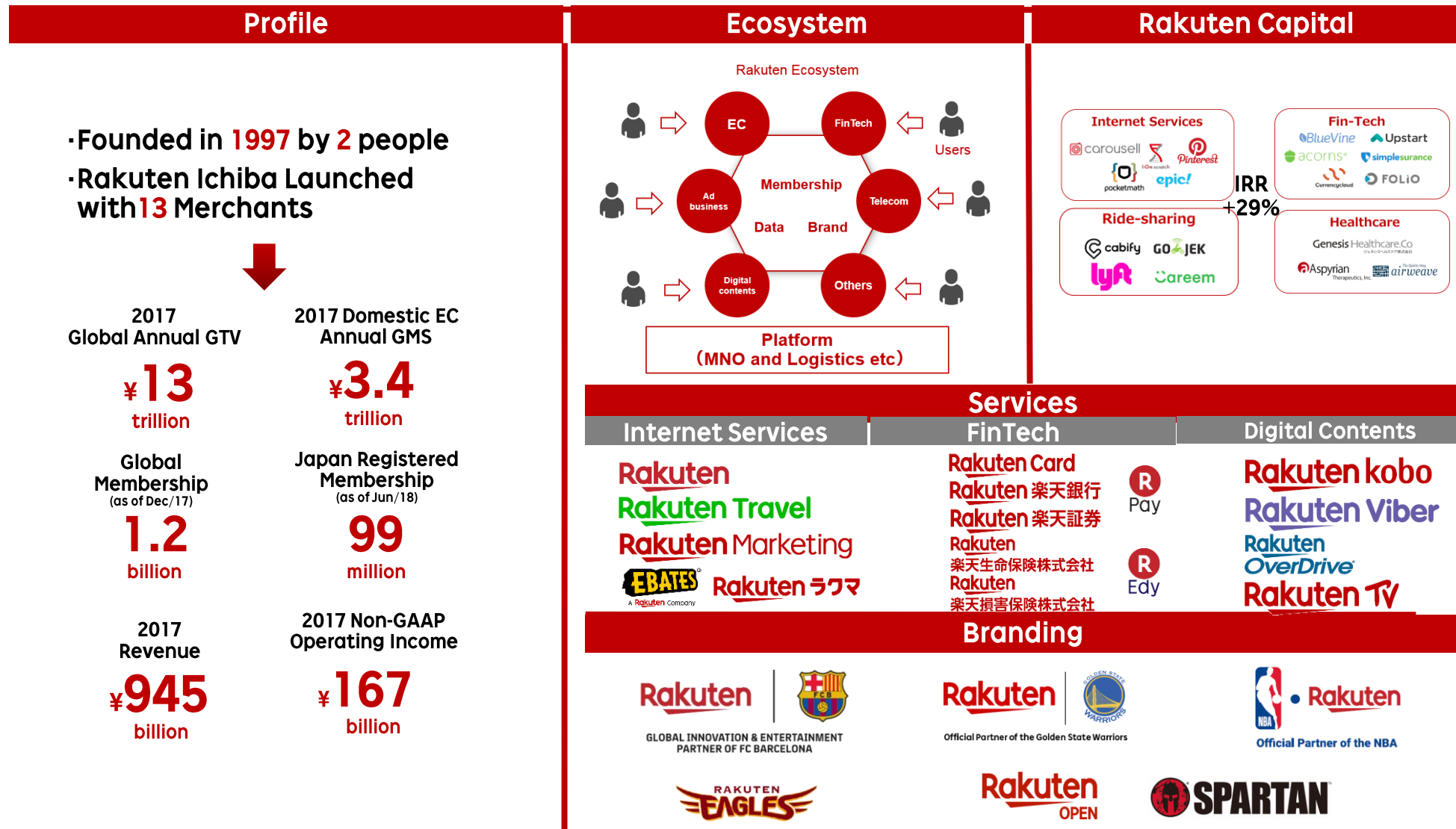
3. 戦略・施策

a. グループシナジー

b. アセットビジネス

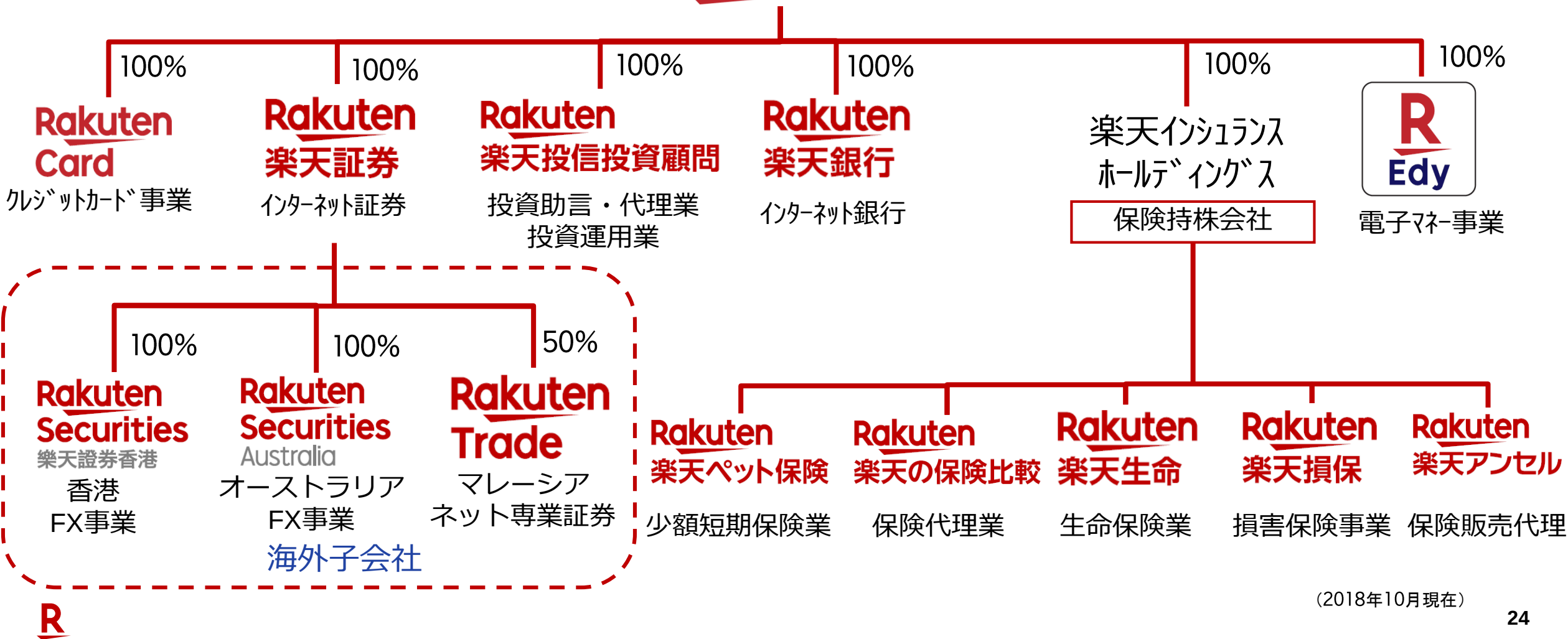
c. トレーディングサービス

d. お客様本位の業務運営



楽天グループの主な金融ビジネス

Rakuten



(2018年10月現在)

3. 戦略・施策

a.グループシナジー

b.アセットビジネス

c.トレーディングサービス

d.お客様本位の業務運営

アセットビジネス ～投資の大衆化にむけて～

- 投資の大衆化＝より広い層が投資・資産形成に参加する環境づくりを推進

投資の第一歩

- 楽天グループ連携
- ポイント投資
- SPU
- クレジットカード決済

サポートツール

- スマホウェブ最適化
- ロボアドバイザー

制度活用

- N I S A
- つみたてN I S A
- iDeCo

IFAビジネス

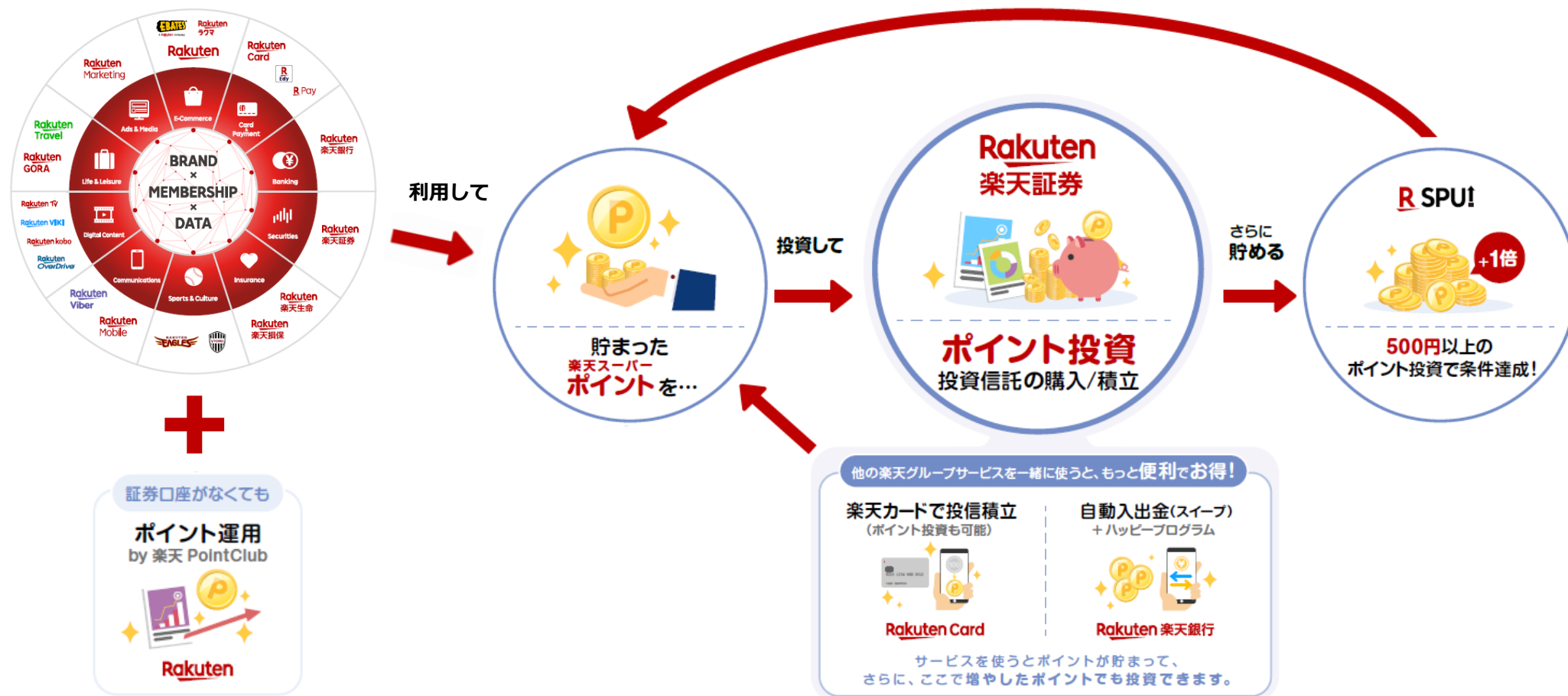
- ターゲットイヤーラップ

+

**新サービス
リリースを
今後も予定**

楽天グループでのグループ連携

- 楽天スーパーポイントを核とした「投資」エコシステムを構築
- 「楽天ポイントクラブ」でのポイント運用も開始
- 「楽天カード」での投資信託積立も開始



ポイントで投資する：投資信託の購入から積立まで

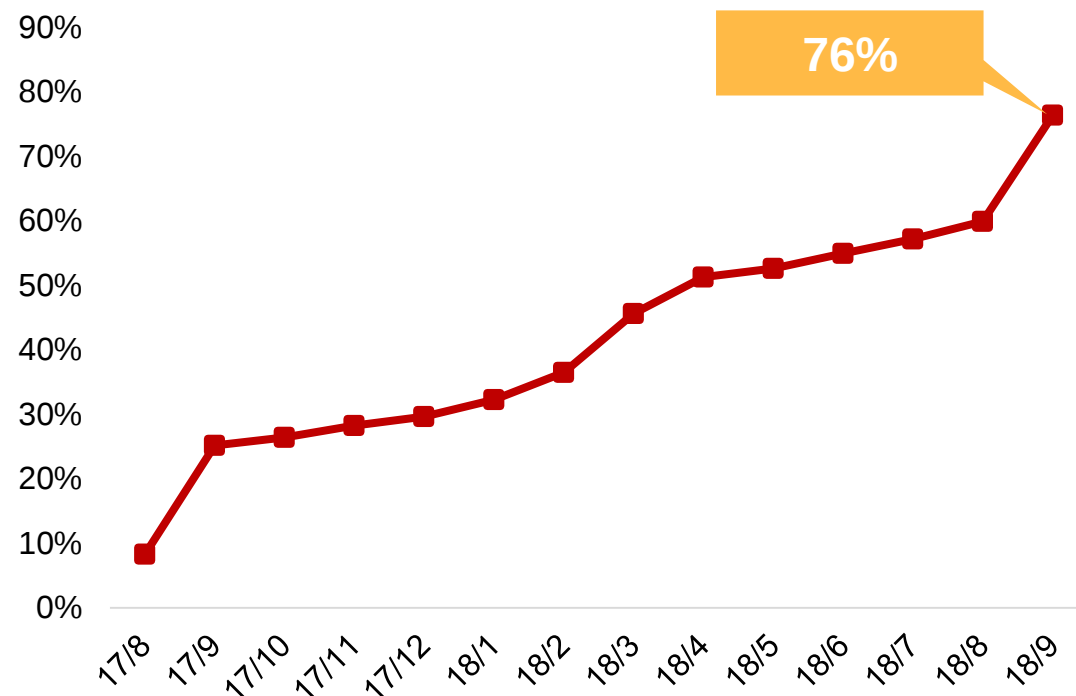
- 2017年8月にポイント買付サービスを開始。楽天スーパーポイントでの投資信託の買付が可能に
- さらに2018年9月より、投資信託の積立まで対応し、ポイント投資サービスを拡大



楽天会員なら!!
貯まったポイントを機会を逃さず、投資に活用できる!



投資信託(通常注文) デビュー顧客の
ポイント利用率



ポイントを貯める：SPU

- 2018年9月より、楽天株式会社で実施しているスーパーポイントアッププログラム（SPU）の対象サービスに加わる
- 「楽天スーパーポイント」を利用した500円以上の投資信託購入でポイント倍率が+1倍の特典



楽天証券 月1回500円以上のポイント投資と
楽天スーパーポイントコースの設定で※
楽天市場の商品が

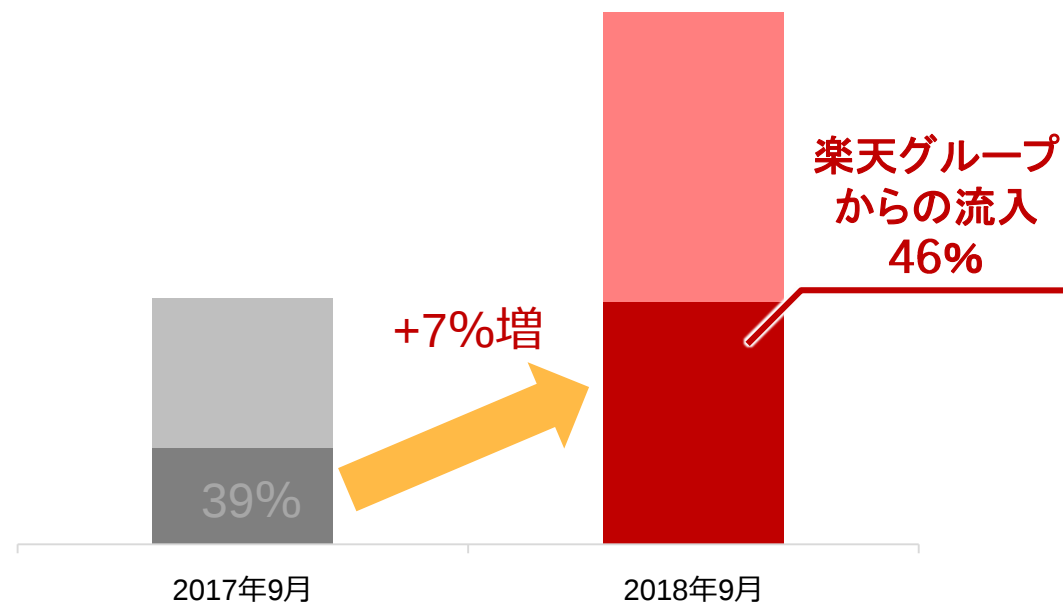
いつでもポイント+1倍に！

ポイント投資とは、ポイントを使って投資信託を
購入できるサービスです。

- 自分のお金を使わず投資ができる**
- 1ポイントから利用できる**
- ポイントと現金の組み合わせもできる**



新規口座開設数 楽天比率



投信積立のクレジットカード決済

- 2018年10月末より、「楽天カード」のクレジット払いでポイント還元を受けながら、投信積立の購入が可能に(10月時点で申込可能)
- 「楽天カード」のご利用時と同様に、毎月の購入金額の1%分(100円につき1ポイント)の「楽天スーパーポイント」が貯まる



投資信託の積立で楽天カードのポイントが貯まります!

❓ “楽天カードクレジット決済”って何？

- ✓ 10/27積立設定受付開始! 投信積立の引落方法が増えます!
 - ✓ 現在提供している「楽天カードの引落口座」とは違い、投信積立を楽天カード決済で行うことができ、積立額の1%分のポイントが楽天カードより付与されます!
 - ✓ 投資信託の積立注文画面で「楽天カードクレジット決済」を選ぶと、毎月1日に積立!
- ⚠️ ご注意
- ・「楽天カードの引落口座」を現在利用されていても自動的に切り替わりません。お客様ご自身で設定ください。
 - ・楽ラップ・iDeCo・未成年口座・法人口座・ジュニアNISA口座は対象外です。

投資信託の積立注文に**楽天カードクレジット決済**を利用すると、
積立額1%分の**楽天スーパーポイント**が楽天カードから付与されます。

おすすめ point1

積立額の**1%分**の
楽天スーパーポイントが貯まる



100円につき1円相当のポイントが貯まる!
いつものお買い物同様に毎月27日に引落

おすすめ point2

100円から積立できる
積立額に**ポイントも使える**



100円～50,000円まで自由に設定できる
楽天スーパーポイントを積立に活用できる

おすすめ point3

約2,500種類の
投資信託を購入(買付)可能

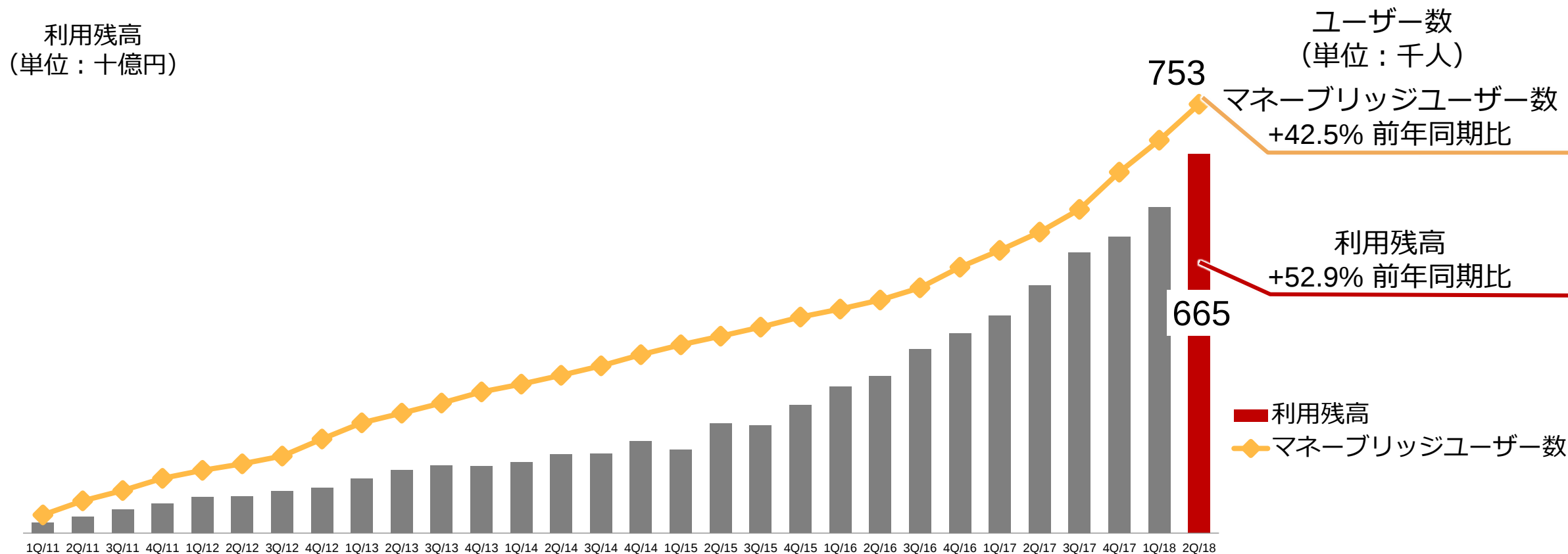


楽天証券で積立可能な全ての投資信託を購入(買付)可能
特定・一般・NISA・つみたてNISAも取引対象

ポイントを貯める：楽天銀行との口座連携 「マネーブリッジ」

■ ユーザー数は前年同期比+42.5%増、利用残高は同比+52.9%増

『マネーブリッジ』サービス 取扱い実績

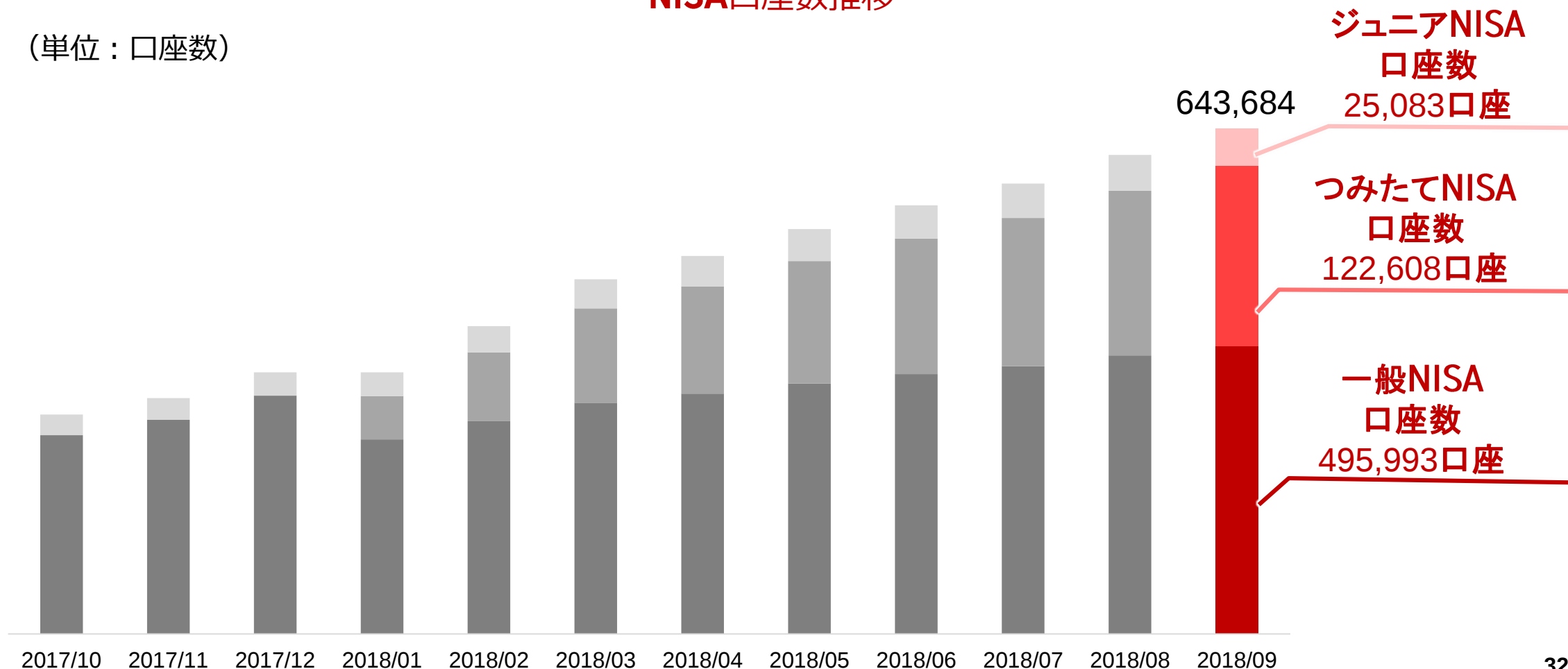


NISAの状況 (2018年9月末時点)

- NISA口座数は64万口座を突破。特につみたてNISAはさらに顧客数を拡大

NISA口座数推移

(単位：口座数)



NISAの状況 (2018年9月末時点)

	NISA
口座数	618,601
累計稼働口座 (累計稼働率)	305,918 49.5%
稼働口座数 (稼働率)	229,435 37.1%

*累計稼働口座数・稼働率は2018年9月末までに取引を行った人数累計
*口座数からはジュニアNISAを除く、つみたてNISAを含む

<NISA口座 男女別 (2018年9月末)>



■ 男性 ■ 女性

<NISA口座 年代別 (2018年9月末)> 4.8%

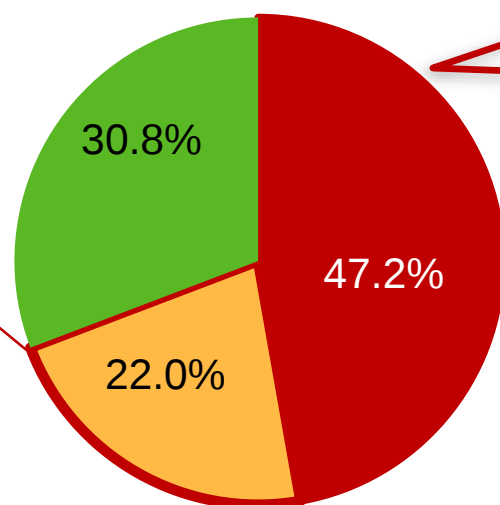


■ 20代 ■ 30代 ■ 40代 ■ 50代 ■ 60代 ■ 70代以上

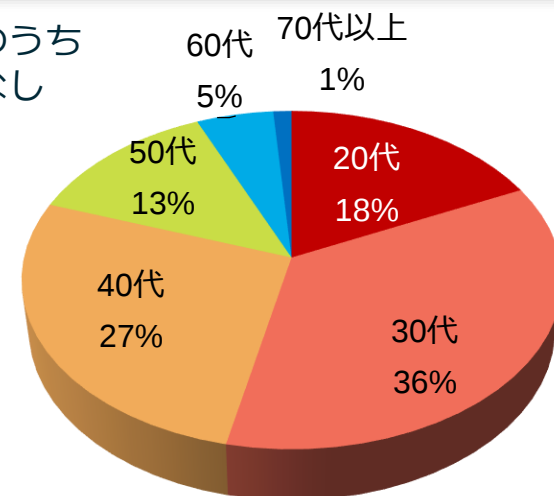
NISA口座に占める新規顧客 (2018年9月末)

新規顧客のうち
投資経験あり

当社新規顧客**
439,753口座



新規顧客のうち
投資経験なし



** 楽天証券がNISA口座開設受付を開始した2013年3月30日以降に資料請求を行い、
且つ2018年9月末時点においてNISA口座を開設している口座数

つみたてNISAの状況

- 2018年1月開始のつみたてNISAは、長期投資が可能なことから40代までの若い層が多く、つみたてNISA口座全体の87%を占める。ポイント利用も開始

楽天証券つみたてNISAの魅力



Point 1 毎日つみたて

楽天証券は最低100円～積立可能！
投資タイミングを気にすることなく、毎日少しずつ資産形成ができます。



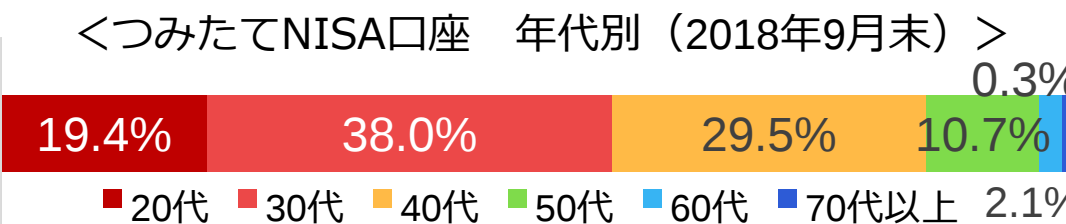
Point 2 ポイントでつみたて

楽天証券なら、口座開設や各種お取引でポイントがたまる！
投資信託を保有しているだけで毎月ポイントがたまる！！
さらに、2018年9月30日から、ポイントで積立投資も可能に。
2018年10月27日から、投資信託の積立を楽天カードのクレジット決済にすれば、楽天カードのポイントも貯まります！



Point 3 まとめてつみたて

お客様が選んだ複数のファンドを、まとめて設定可能になります！
1つつつ設定する手間が省けるので、リスク分散のためにファンドへの投資を考えてる方にもおすすめの機能です。

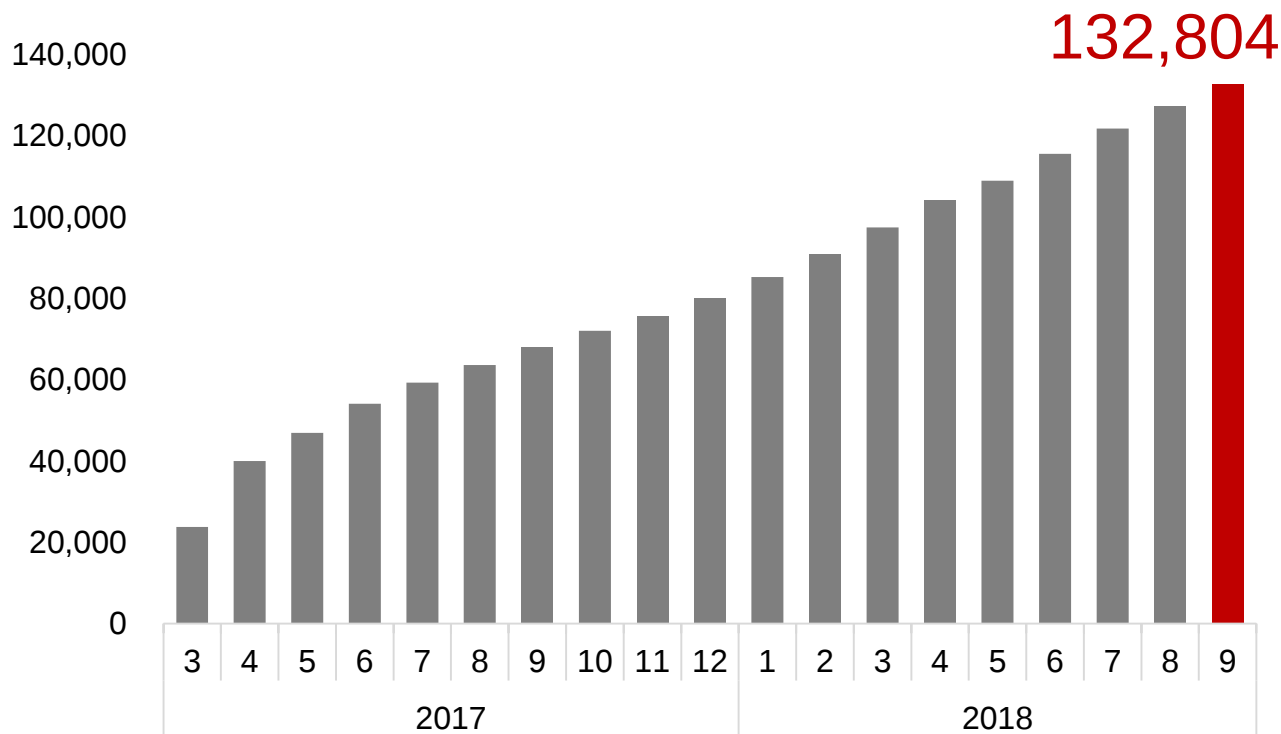


No	銘柄名
1	ひふみプラス
2	楽天・全世界株式インデックス・ファンド （楽天・バンガード・ファンド（全世界株式））
3	楽天・全米株式インデックス・ファンド （楽天・バンガード・ファンド（全米株式））
4	eMAXIS Slim 先進国株式インデックス
5	＜購入・換金手数料なし＞ ニッセイ 外国株式インデックスファンド

iDeCoの状況

- iDeCo（個人型確定拠出年金）の加入者は順調に増加し、13万口座を突破
- iDeCo口座は開始2年で*業界3位に位置している

iDeCo口座数の推移



楽天証券が選ばれる理由

理由 1

※
0円

運営管理手数料が条件なしで誰でも無料！

理由 2

楽天証券ならサポートも充実
無料のセミナーも開催します



理由 3

資産管理しやすい運用画面！
証券資産と年金資産を**1つのIDで管理**できます



理由 4

低コスト商品が多い！
運用コスト（信託報酬）を抑えたラインナップ



※残高、積立額、期間にかかわらず、どなたでも0円です。
過去に加入・移換・運営管理機関変更された方もすべて対象となります。

※国民年金基金連合会や事務委託先金融機関（信託銀行）が設定する口座管理手数料等が別途発生します。
過去に加入・移換・運営管理機関変更された方もすべて対象となります。
*国民年金基金連合会メールマガジンより

iDeCo専用 スマホサイト

- iDeCo専用スマホサイトの提供開始（4月29日より）
- iDeCoの個別ファンドの詳細情報や運用資産推移、掛け金配分設定・変更・スイッチングも専用スマホ画面で可能に

iDeCo運用資産と個別ファンド情報をスマホから確認



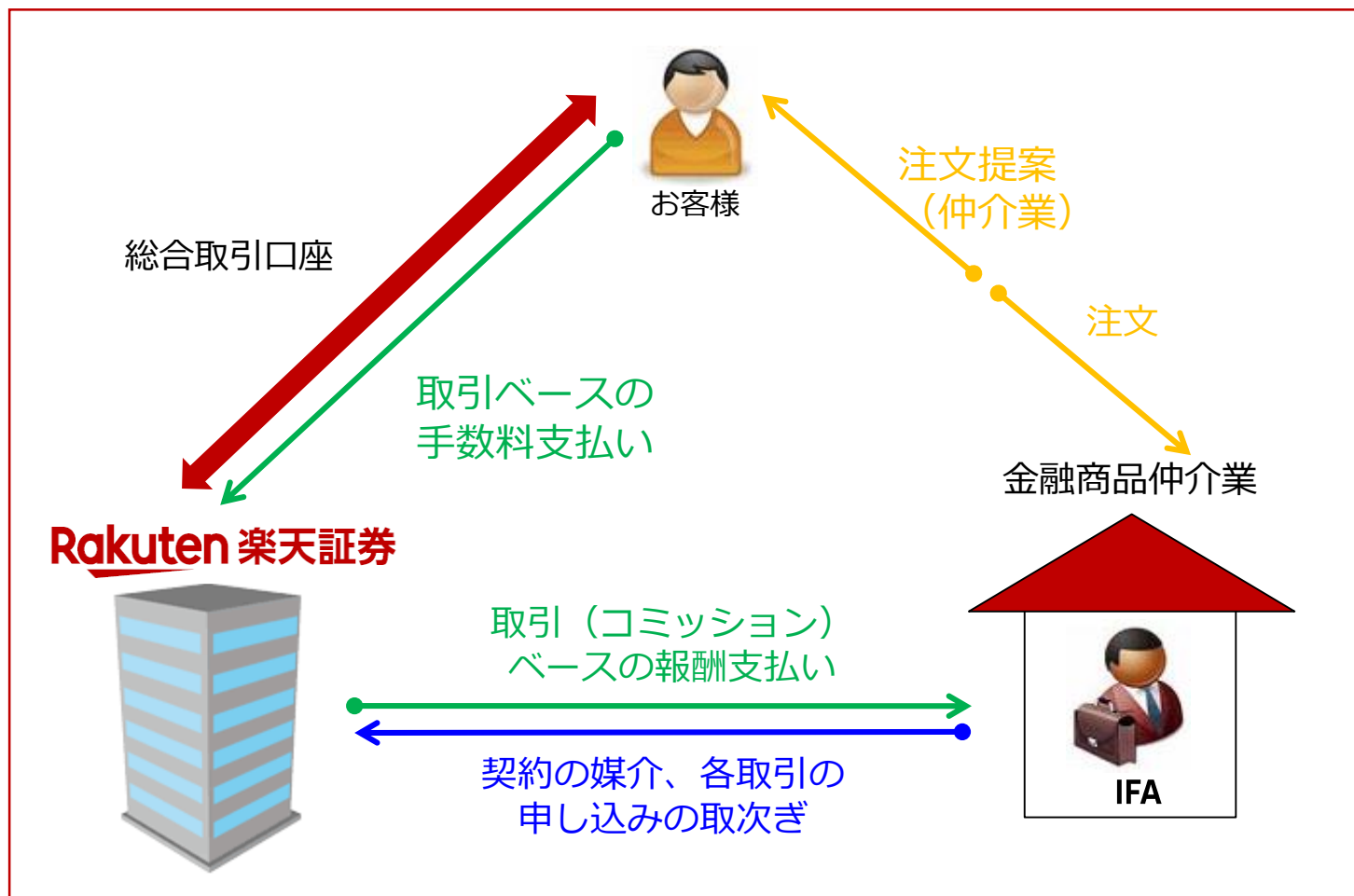
iDeCo 専用 LINE AI チャット

- AI技術を活用したiDeCo専用のチャットサポートサービス「AIチャット」を提供
- 24時間365日、iDeCoの一般的なお問い合わせに対して、最適な回答を自動で行う



IFAビジネス

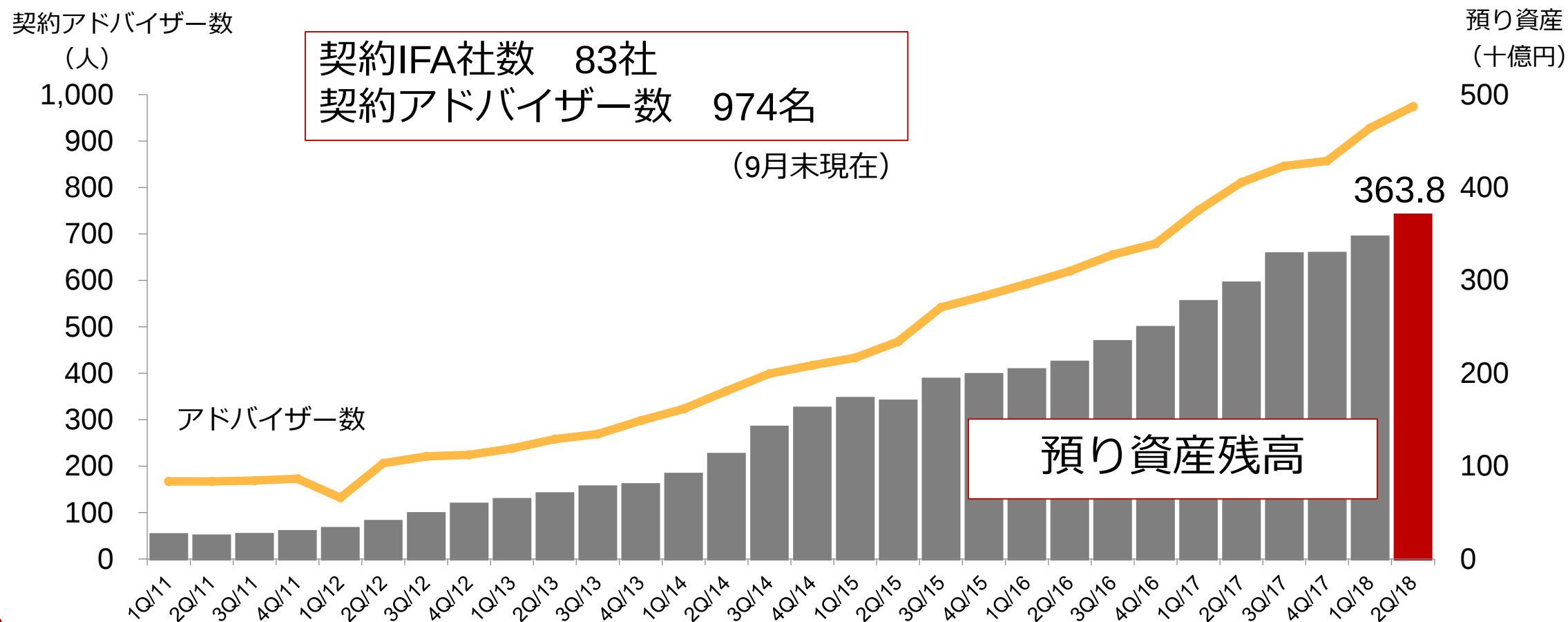
- 準富裕層・富裕層をターゲットとするB2B2CビジネスであるIFAビジネスを展開
- 金融商品仲介業の制度を活用



IFAビジネスの状況

- 2008年10月のサービス開始以来、事業基盤は堅調に拡大。預り資産は3,600億円突破

IFA 契約アドバイザー数・顧客預り資産推移

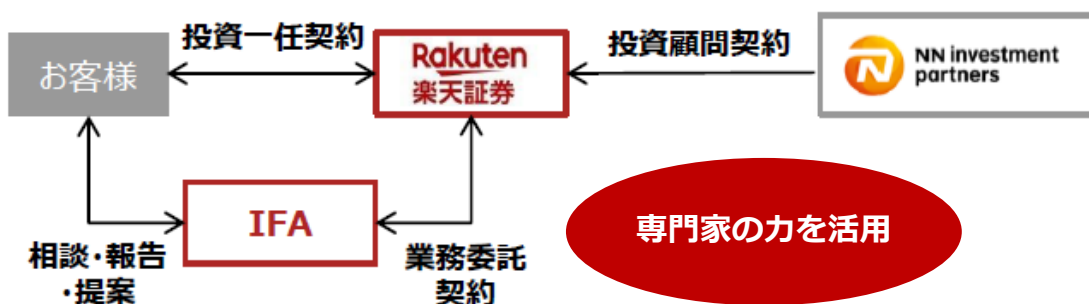


IFAビジネスの進化：ターゲットイヤーラップの提供開始

- 2018年7月より、NNインベストメント・パートナーズ株式会社と協同で、「人生100年時代」を見据えたトータルソリューション「ターゲットイヤーラップ」を提供開始
- お客様一人ひとりにカスタマイズした運用が可能



【ターゲットイヤーラップの仕組み】

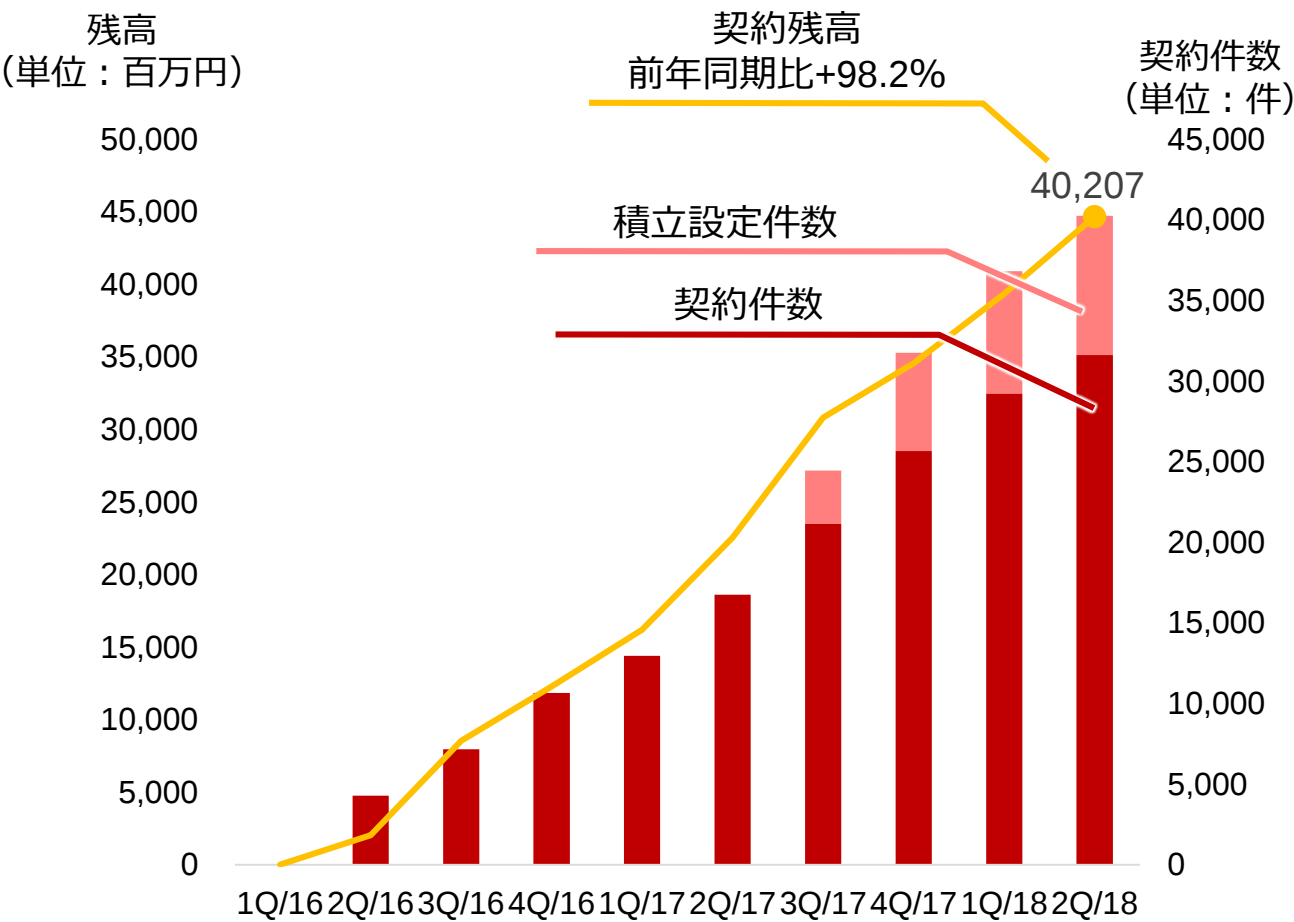


【ターゲットイヤーラップの魅力】

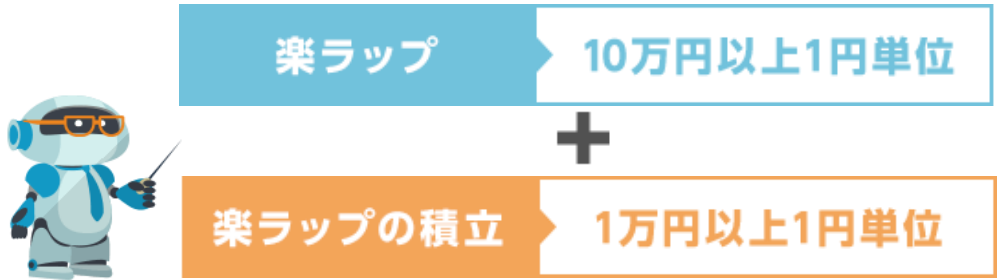
- ポイント1** お客様一人ひとりにカスタマイズした運用プランを提供
- ポイント2** 運用中も柔軟にプラン変更が可能
- ポイント3** リスクに配慮した商品設計
- ポイント4** アプリで簡単に運用プランを診断

ロボ・アドバイザー 楽ラップ

- 契約数、積立設定件数、残高ともに順調に増加。残高は400億円を突破
- 2017年11月より積立サービスを開始し、手軽に「時間分散投資」が可能に



楽ラップ積立は1万円から1円単位で可能*



毎月自動で追加投資で手間いらず

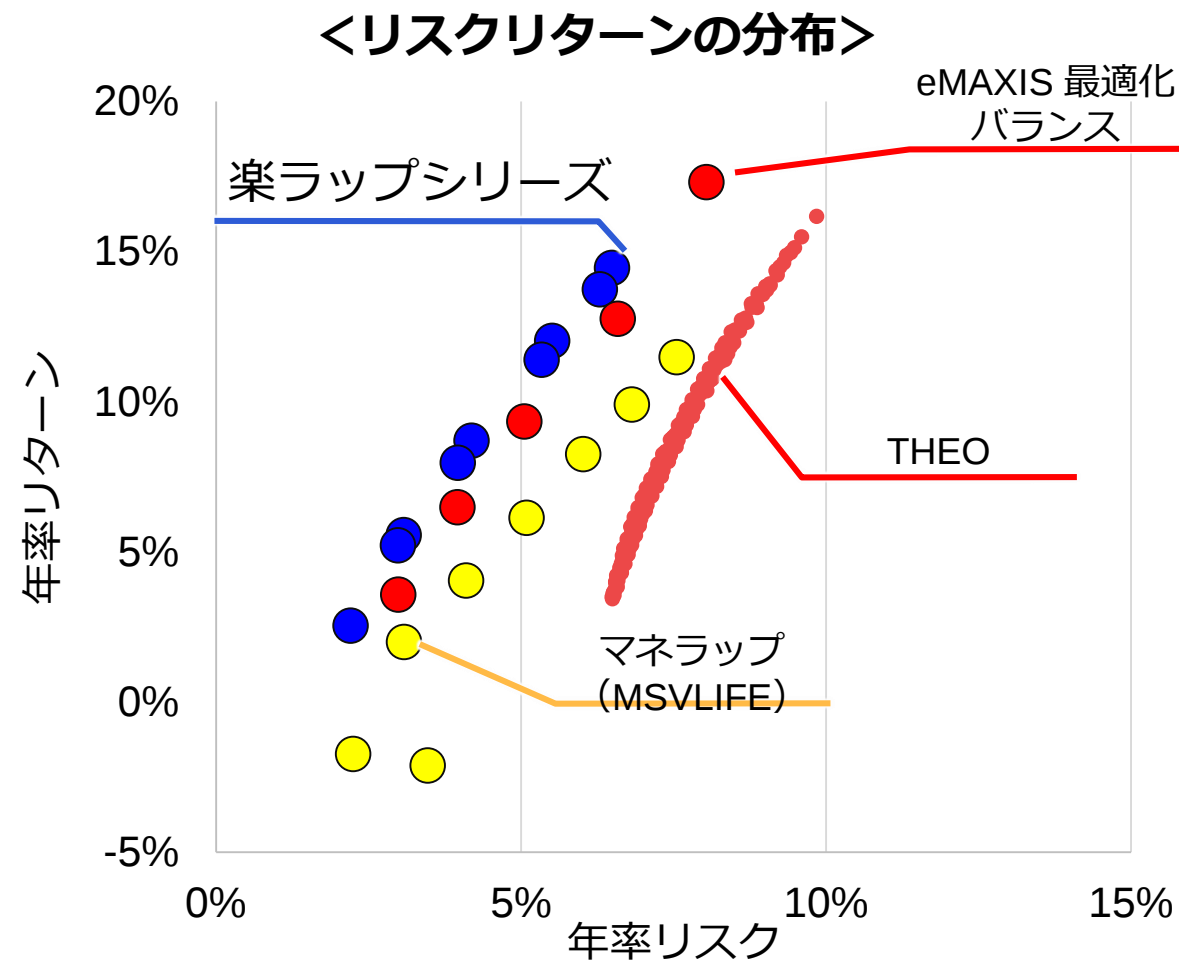


積立をする日 (積立指定日) は、10日または25日 (休業日の場合は翌営業日) から選択可能

※ 積立をご利用いただくには、事前または同時に楽ラップをお申込み (最低10万円) いただく必要があります。積立のみをご利用いただくことはできません。

ロボ・アドバイザー 楽ラップ

- 楽ラップは各社が提供するロボ・アドバイザーのなかでも、好運用効率を維持
- シャーププレシオは高い水準を継続



*集計期間：2016年7月～2018年9月
*各社開示情報から月次データを使用し、当社集計

3. 戦略・施策

a. グループシナジー

b. アセットビジネス

c. トレーディングサービス

d. お客様本位の業務運営

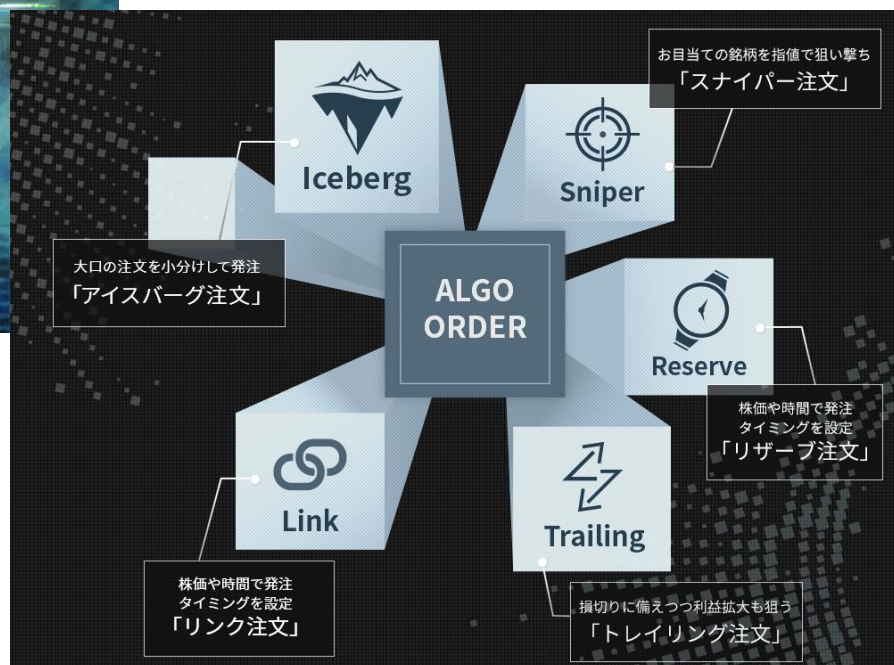
Market *SPEED* II リリース

- 2018年10月にトレーディングツールの先駆けである「MARKET *SPEED*」を全面リニューアルした、「MARKET *SPEED* II」を新たに提供

【Main Visual】



【New Order】



【New Function】



Market *SPEED* II アルゴ注文搭載

- マーケツトスピードⅡでは、注文執行の質とバリエーションを大幅に拡充
- 事前に登録した条件に合致したときに自動で注文が発注される機能「アルゴ注文」を実装

【ALGO Order】

「アイスバーグ注文」



1つの注文を複数に小口分割し、約定するたびに逐次発注できる機能です。氷山のように全体を見せずに大口の注文を執行することが可能です。



「スナイパー注文」



指定した価格の気配が表示されるまでは発注せずに待機し、表示されたときに瞬時に発注する機能です。また、約定しなかった注文数量は自動的に取り消され、再度指定した価格気配が表示された際に再発注を行います。



「トレイリング注文」



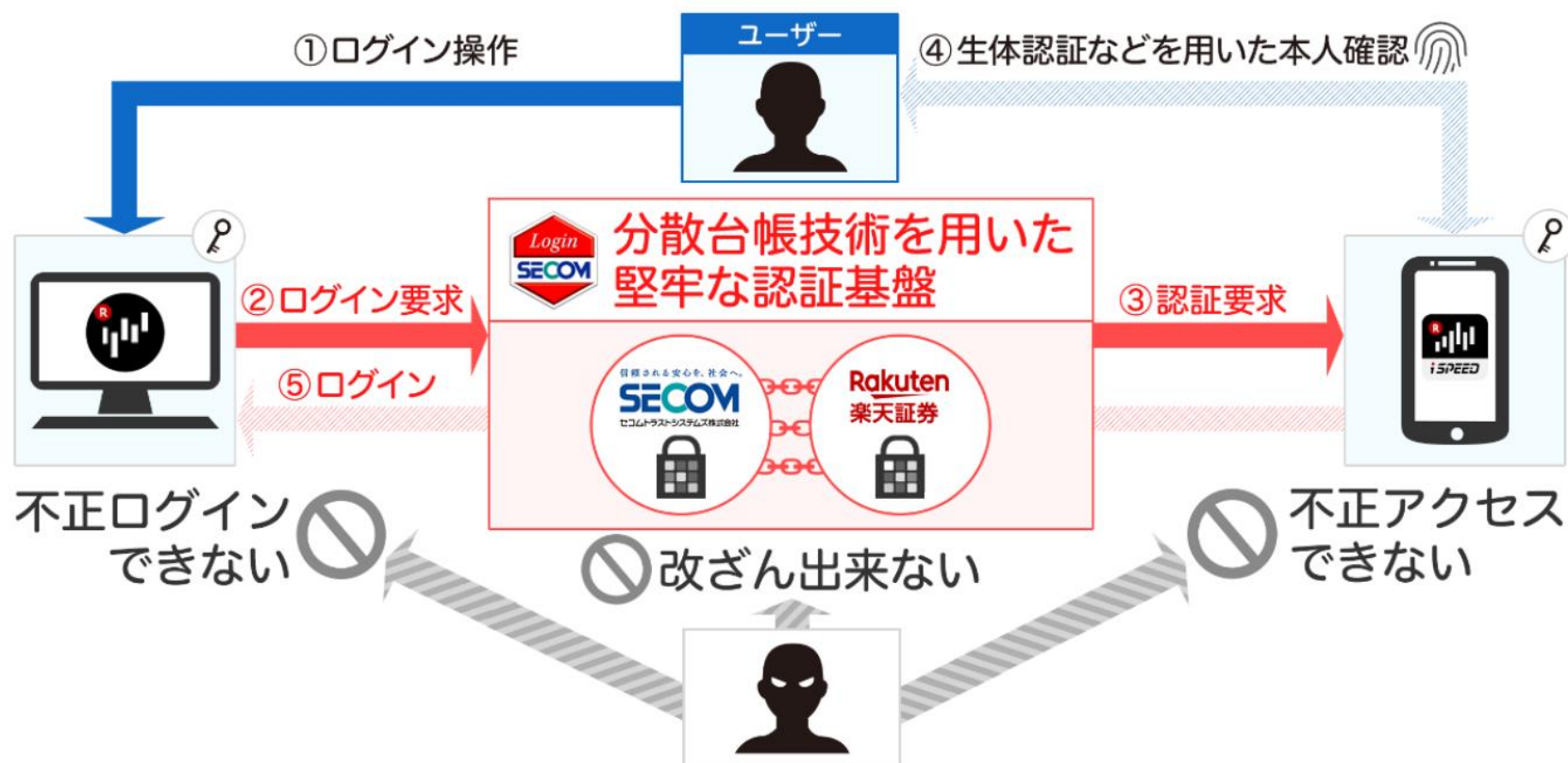
逆指値注文を設定しつつ、株価が自分にとって有利な方向に動いた場合は逆指値価格を自動で修正する機能です。損失を限定しつつ、利益の拡大を狙うことができます。



分散型台帳技術(DLT)と生体認証ログイン

- セキュリティの高い環境を提供するため、ID・パスワードを入力せず、スマートフォンの指紋や顔認証、端末の認証でログイン可能な新たなログイン方法を提供
- 本人認証を二重化することでセキュリティを一層強化しており、2018年10月リリースのマーケットスピードⅡに実装

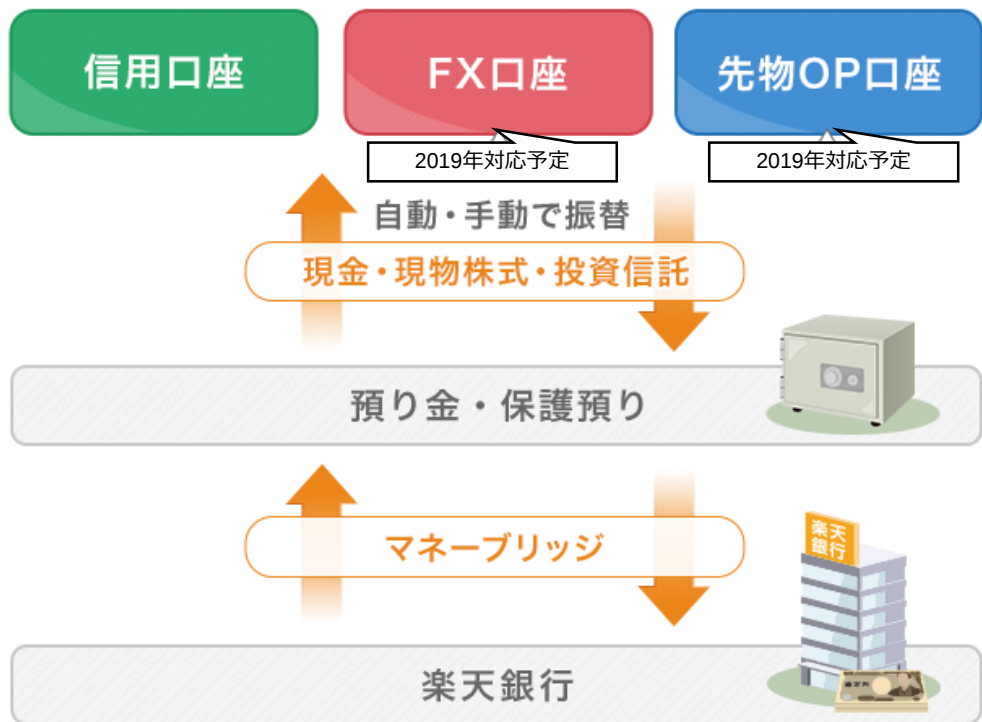
■分散型台帳技術と生体認証を使ったログインのイメージ図



らくらく担保

- 2018年9月より新たな保証金・証拠金管理機能「らくらく担保」サービスを提供開始
- お客さまは代用有価証券として国内株式と投資信託を利用し、レバレッジ取引において、効果的に資金の運用が可能

【らくらく担保の仕組み】

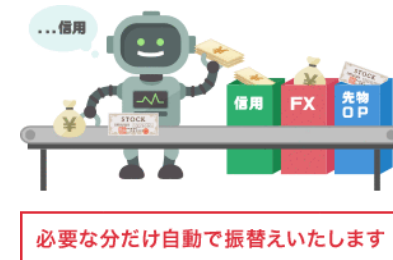


らくらく担保の3つの特徴

- ## 1.保有資産を有効活用！ 株式と投資信託を代用として利用可能！



- ## 2.注文に必要な現金、株式、投資信託を 自動で振替え！

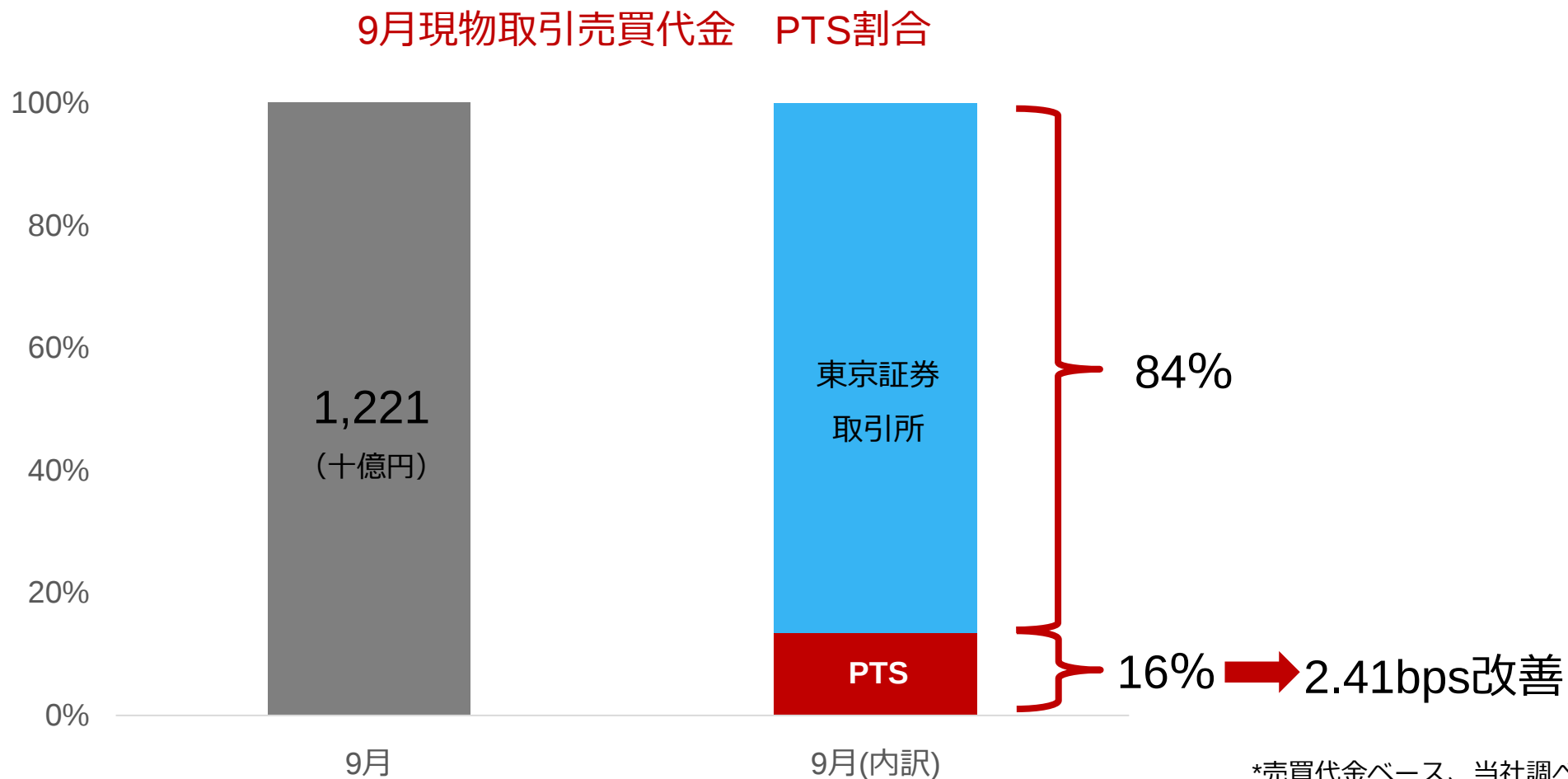


- ### 3.取引状況を1画面で簡単に管理！

[illegible]

PTS・SORサービス 効果（2018年9月実績）

- 現物取引売買代金のうち、83%の注文がSORサービス経由
- 当社現物注文におけるPTSでの約定割合は16%を占め、2.41ベースポイントの価格改善
- 2018年7月以降、月次でSORの効果を会員ページに公表



PTS・SORサービス 第三者執行評価

- 自社独自の分析に留まらず、株式会社QUICK社へ執行評価を委託し、その結果についても公表
- 2018年9月月間で受注から執行までの時間差による東証最良気配外の約定は0.023%ときわめて低いレベルで抑えられている



SOR注文執行評価

2018/09/03 - 2018/09/28

執行市場	約定金額割合(SOR約定の内訳)	東証最良気配外での約定金額割合(注)
SOR約定	100.0%	
(内訳) 東京証券取引所	39.1%	
PTS合計	60.9%	0.023%
チャイェックスジャパン	44.6%	0.011%
SBIジャパンネクスト	16.3%	0.057%

(注) 東証最良気配外での約定金額割合

各執行市場での約定時刻における東証の最良気配と比較して、不利な価格で約定したと判定(※)される売買代金の割合です。

計算式： 東証の最良気配よりも不利な価格で約定した売買代金 ÷ それぞれの執行市場で約定した売買代金

※ミリ秒（1,000分の1秒）単位に切捨てた時刻により判定しているため、誤差が生じることがあります。

©2018 QUICK Corp.

本レポートは、楽天証券株式会社の依頼により、株式会社QUICKが提供しています。本レポートおよび本レポートに含まれる情報（「本情報」）の著作権等の知的財産権は株式会社QUICKまたはその情報提供元に帰属します。本レポートの閲覧者（「閲覧者」）は、本レポートをご自身でのみ利用するものとし、第三者への提供、本情報の加工、編集、蓄積等を固く禁じます。本情報の内容につきましては、万全を期しておりますが、その正確性、信頼性等を保証するものではありません。閲覧者が本情報の利用または利用できないことにより被ったいかなる損害も、楽天証券株式会社、株式会社QUICKおよび情報提供元は一切責任を負いません。

スマートフォン・タブレットサービスのラインナップ

■ スマートフォンWebの最適化を実施、スマートフォンユーザーの取引をサポート

Line up	スマートフォン Web					アプリケーション		
	資産状況	投資信託	つみたてNISA	iDeCo	ラップ (ロボアド)	国内株式	FX	先物OP
 楽天証券	○	○	○	○	○	○	○	○
 SBI証券	○	×	×	×	×	○	○	○
 松井証券	○	○	○	×	○	○	○	○
 カブドット コム証券	○	○	×	×	×	○	○	○
 マネックス 証券	○	○	×	○	○	○	○	○

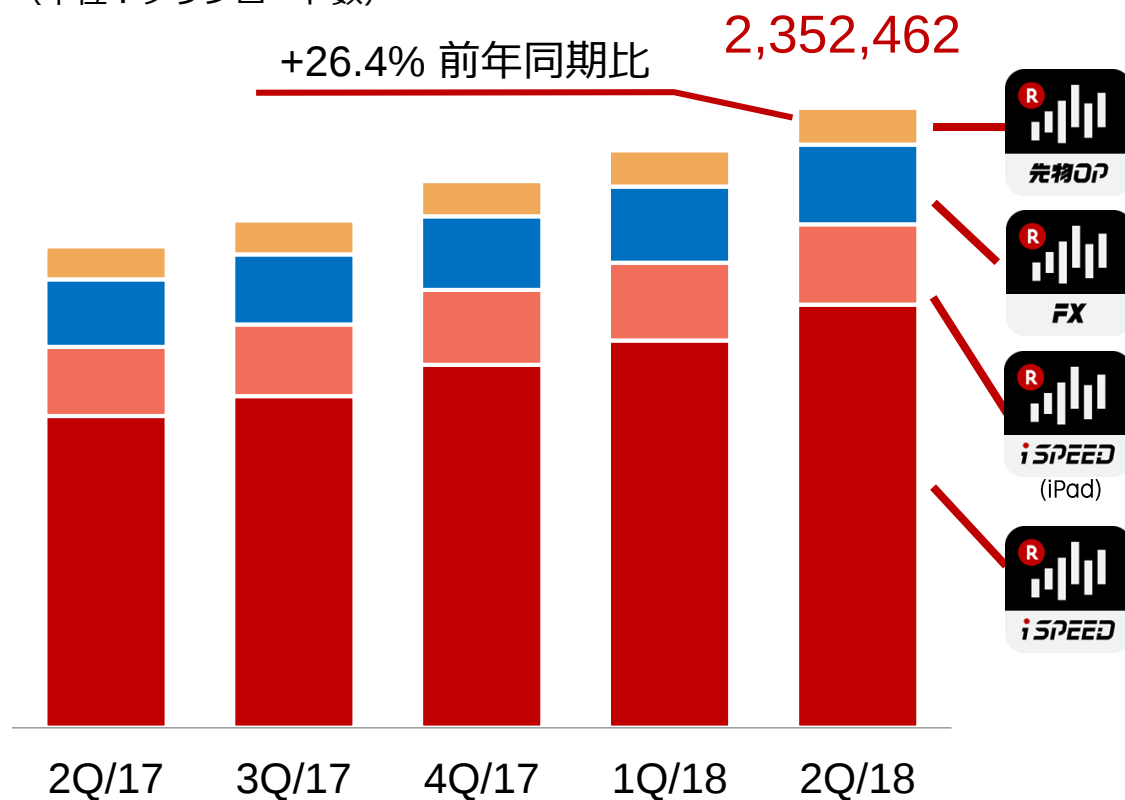
* 9月末時点 各社開示資料より当社調べ

スマートフォンアプリ「iSPEED」

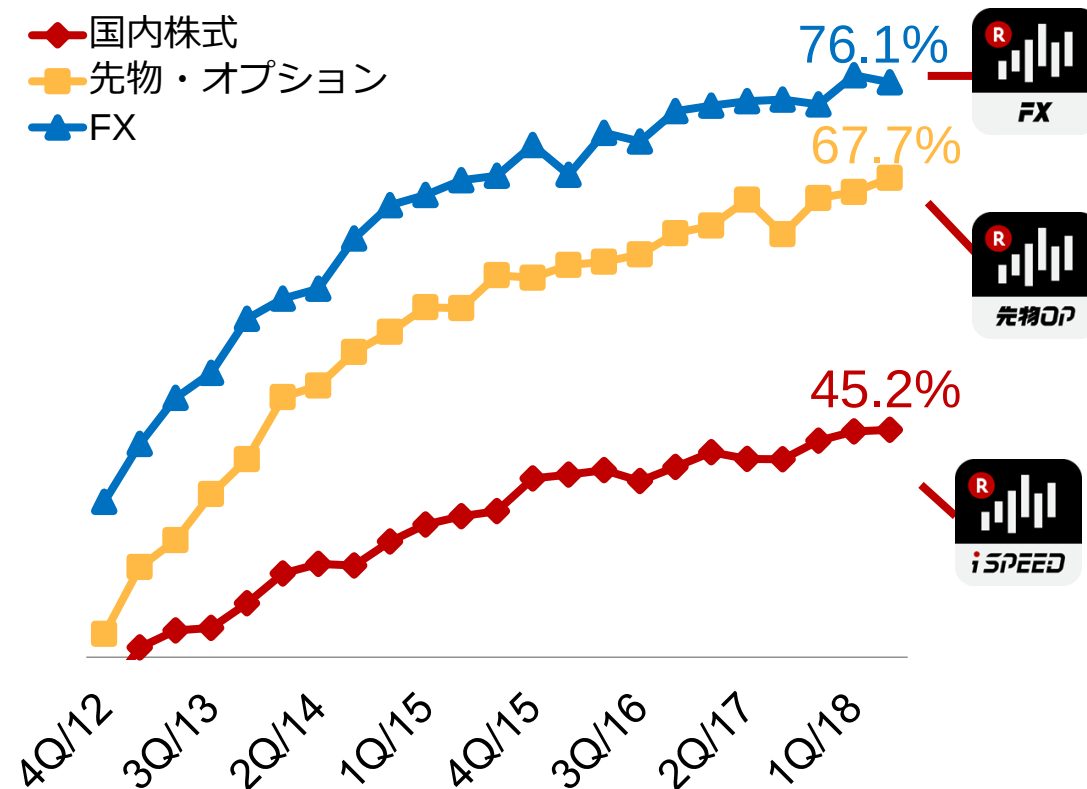
■ スマートフォン向けアプリ“iSPEED”シリーズは、2018年9月に累計230万ダウンロードを突破

スマートフォンアプリダウンロード数推移

(単位：ダウンロード数)



各取引におけるスマートフォン利用者の割合*



*スマートフォンにて注文したユニークユーザ数をもとに弊社にて集計

3. 戦略・施策

a. グループシナジー

b. アセットビジネス

c. トレーディングサービス

d. お客様本位の業務運営

『お客様本位の業務運営宣言』

■ 2017年6月に、6つの宣言からなる『お客様本位の業務運営宣言』を公表

1. お客様のために、最良のサービス提供を目指します
2. お客様がご自身にあった金融商品・サービスの選択ができるように努めます
3. 金融商品・サービスに係る重要な情報について、お客様が理解できるよう分かりやすい説明を実施します
4. お客様にご負担いただく費用については、公明正大に情報提供をします
5. お客様との利益相反を徹底的に防止する措置を講じます
6. 「お客様本位の業務運営」を実現するため、従業員研修その他の適切な動機づけの枠組みを整備いたします

『お客様本位の業務運営宣言』に関する取り組み

- 楽天証券における『お客様本位の業務運営宣言』に関する取り組み状況をHPで公開
<https://www.rakuten-sec.co.jp/web/company/fiduciary/>
- サービスに関する各種KPIの状況や、お客様の投資商品選択のためのサポートツールの導入状況、プロフェッショナルとしての資格保有・教育の状況などを公開

取り組みに関するKPI

➤ お客様からの信頼に基づく成長として

- ✓ 総合口座数推移
- ✓ 預り残高推移、口座あたり預り残高推移
- ✓ 新規口座に占める投資未経験者の割合、年齢別割合
- ✓ 投信残高・積立設定推移、投信取り扱い本数推移
- ✓ NISA口座数、iDeCo口座数推移
- ✓ 楽天投信投資顧問(株) 投資信託取り扱い割合
(利益相反防止の取り組み)

➤ お客様に負担いただく費用逡減の取組

- ✓ 株式委託手数料率、信用評価損益率
- ✓ 投資信託販売手数料率、手数料別販売状況
- ✓ 投資信託代行手数料率

➤ カスタマーサービス、システム等の状況

- ✓ コールセンター受電件数、応答率、クレーム発生率
- ✓ システム稼働負荷状況

➤ 教育・研修の取り組み

- ✓ 社員の専門資格保有の取り組み状況
- ✓ 研修実施状況

『お客様本位の業務運営』に関する **2018**年上期の新たな取り組み

2018年4-9月の新たな取り組み

楽天証券のポイント投資
でポイント+1倍

R SPU↑

保有資産を有効活用！
株式と投信を代用として利用可能

らくらく担保

マーケットスピードは、
次のステージへ

 **MARKETSPEED II**

ポイント投資サービス拡大
気軽に投信積立

積立注文



楽天カードクレジット決済で
ポイントが貯まる！



価格改善効果をより公正性、
透明性の高い情報で提供

**SORサービス
第三者機関評価
レポート**

HDI格付けベンチマークで**3**年連続最高ランクの「三つ星」を獲得

- HDI-Japanが2018年9月に発表した「問合せ窓口格付け」部門及び「WEBサポート格付け」部門の2018年度評価において、3年連続で「三つ星」を獲得

2018年4月-2018年9月

受電件数	246,791
受電率	95.6%
クレーム発生率	0.08%



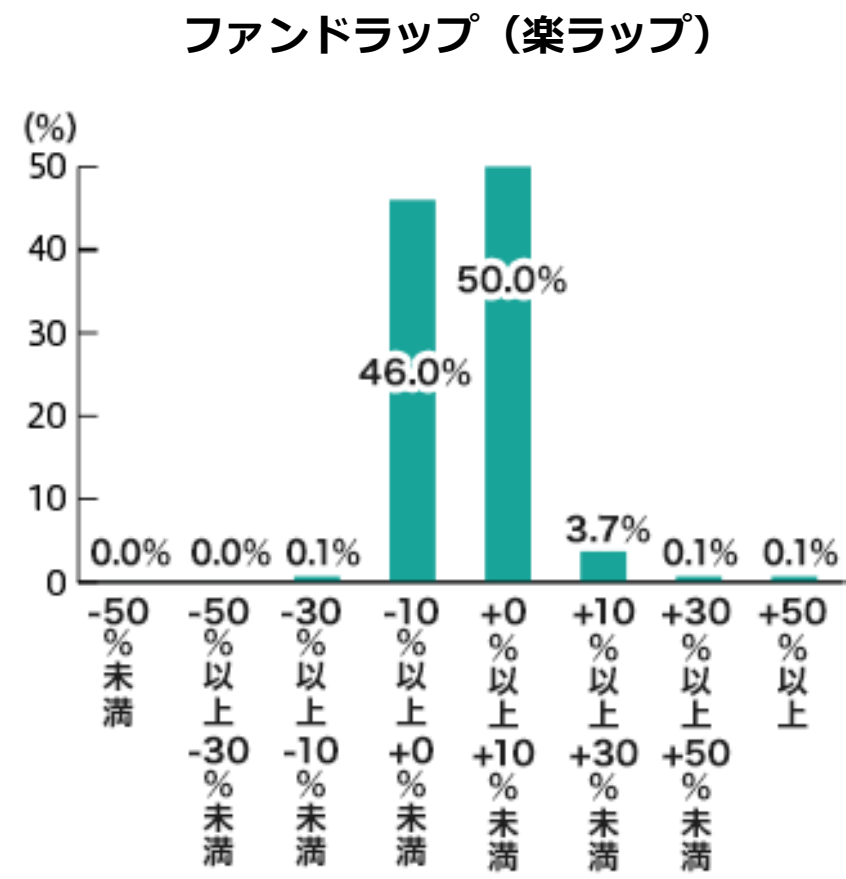
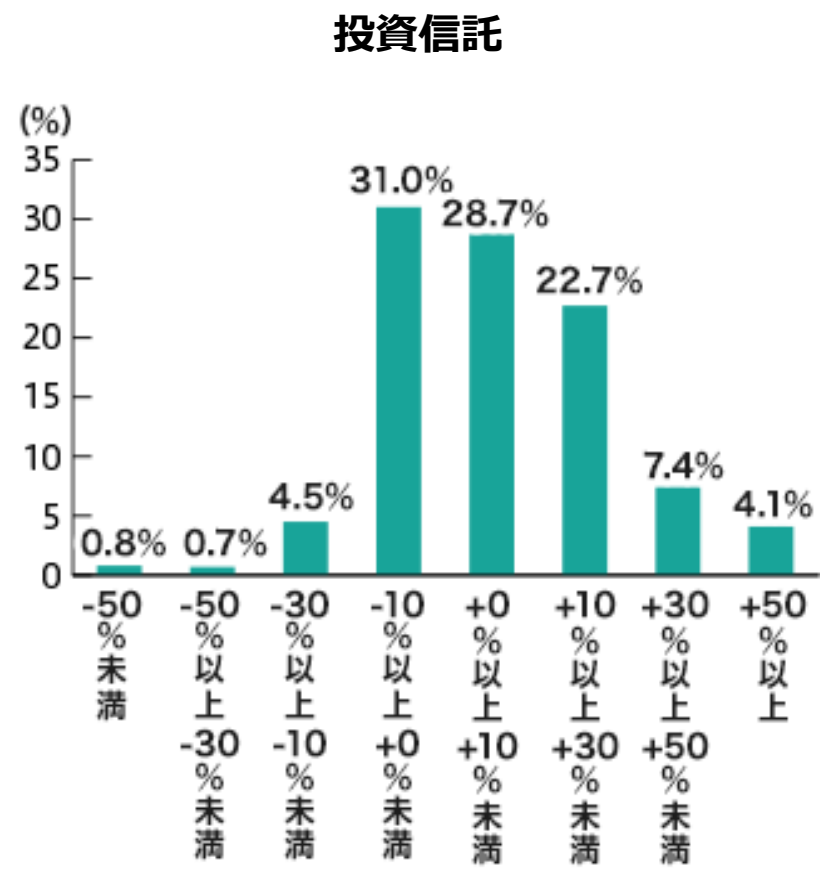
共通**KPI**の公表について

お客様が成果指標を用いて金融事業者を選ぶことは必ずしも容易でないことから、長期的にリスクや手数料等に見合ったリターンがどの程度生じているかを「見える化」するために、比較可能な共通KPIと考えられる以下の3つの指標を公表（2018年8月28日）

- 運用損益別顧客比率
- 投資信託預り残高上位20銘柄のコスト・リターン
- 投資信託預り残高上位20銘柄のリスク・リターン

共通KPIの公表：運用損益別顧客比率

- 投資信託、ファンドラップ(楽ラップ)の運用損益状況を損益区分ごとに公表
- 楽天証券で投資信託を運用されているお客様のうち、62.9%の方が運用損益でプラス

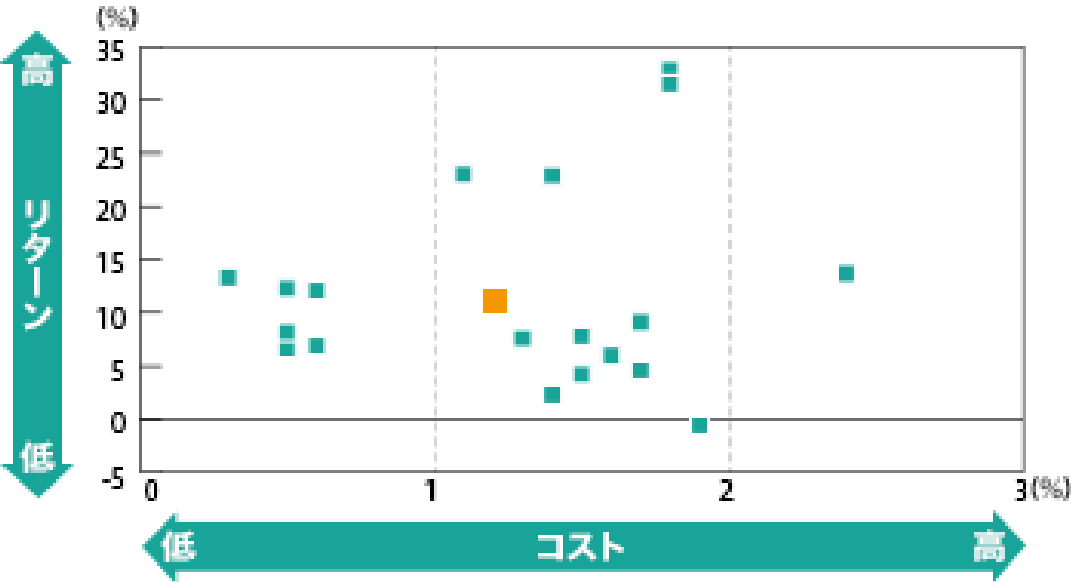


※2018年3月末時点の投信残高に対するトータルリターンで算出。楽天証券で投資信託の取扱いを開始した、1999年8月30日以降の全期間に関して、保有している銘柄すべてを含みます。



共通KPIの公表：投資信託預り残高上位20銘柄のコスト・リターン

■ 投資信託の残高上位20銘柄について、コストに対するリターンを公表



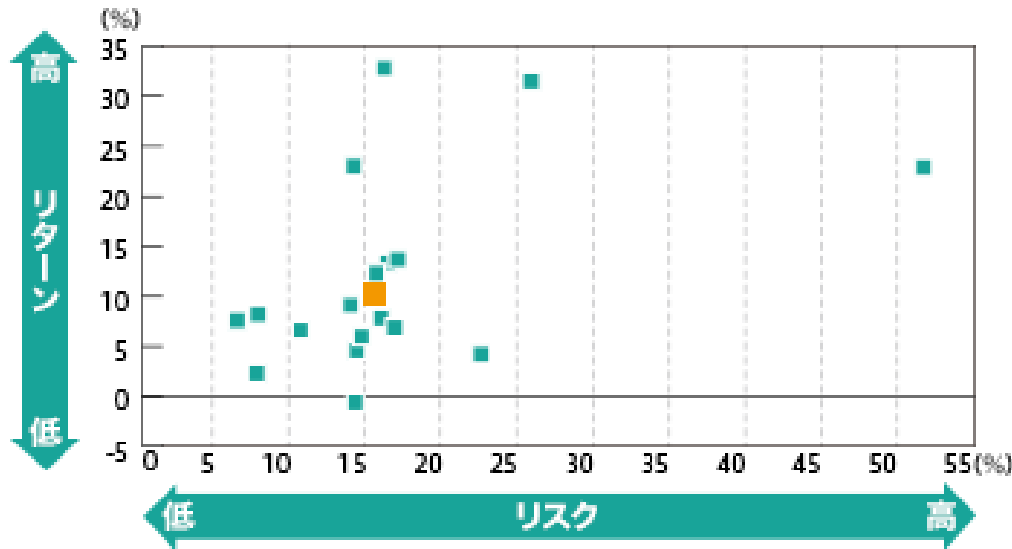
	コスト	リターン
残高加重平均値	1.21%	12.06%

※2018年3月末時点で算出

- 1.ひふみプラス
- 2.ニッセイ日経225インデックスファンド
- 3.楽天USリート・トリプルエンジン（リアル） 毎月分配型
- 4.ワールド・リート・オープン（毎月決算型）
- 5.フィデリティ・USリート・ファンドB（為替ヘッジなし）
- 6.ニッセイグローバル好配当株式プラス（毎月決算型）
- 7.ラサール・グローバルREITファンド（毎月分配型）
- 8.SMTグローバル株式インデックス・オープン
- 9.好配当グローバルREITプレミアム・ファンド通貨セレクトコース
- 10.世界経済インデックスファンド
- 11.eMAXIS新興国株式インデックス
- 12.AR国内バリュー株式ファンド
- 13.グローバル・ソブリン・オープン（毎月決算型）
- 14.楽天資産形成ファンド
- 15.楽天日本株トリプル・ブル
- 16.SBI中小型割安成長株ファンドジェイリバイブ
- 17.eMAXIS先進国株式インデックス
- 18.SBI小型成長株ファンドジェイクール
- 19.グローバル・ヘルスケア&バイオ・ファンド
- 20.外国株式インデックスe

共通KPIの公表：投資信託預り残高上位20銘柄のリスク・リターン

■ 投資信託の残高上位20銘柄について、リスクに対するリターンを公表



	リスク	リターン
残高加重平均値	15.74%	12.06%

1. ひふみプラス
2. ニッセイ日経225インデックスファンド
3. 楽天USリート・トリプルエンジン（レアル）毎月分配型
4. ワールド・リート・オープン（毎月決算型）
5. フィデリティ・USリート・ファンドB（為替ヘッジなし）
6. ニッセイグローバル好配当株式プラス（毎月決算型）
7. ラサール・グローバルREITファンド（毎月分配型）
8. SMTグローバル株式インデックス・オープン
9. 好配当グローバルREITプレミアム・ファンド通貨セレクトコース
10. 世界経済インデックスファンド
11. eMAXIS新興国株式インデックス
12. AR国内バリュー株式ファンド
13. グローバル・ソブリン・オープン（毎月決算型）
14. 楽天資産形成ファンド
15. 楽天日本株トリプル・ブル
16. SBI中小型割安成長株ファンドジェイリバイブ
17. eMAXIS先進国株式インデックス
18. SBI小型成長株ファンドジェイクール
19. グローバル・ヘルスケア&バイオ・ファンド
20. 外国株式インデックスe

※2018年3月末時点で算出

本資料に記載されている事項は、当社のご案内の他、事業戦略等に関する情報の提供を目的としたものであり、当社の発行する株式もしくは親会社である楽天株式会社の発行する株式、その他の有価証券への投資の勧誘を目的としたものではありません。本資料に記載された意見や予測などは資料作成時点での当社の判断であり、その情報の正確性を保証するものではありません。様々な要因の変化により、実際の業績や結果とは大きく異なる可能性があることを御承知おきください。文中に記載の会社名、製品名は各社の登録商標または商標です。

楽天証券株式会社

金融商品取引業者：関東財務局長（金商）第195号、商品先物取引業者、銀行代理業許可：関東財務局長（銀代）第302号、確定拠出年金運営管理機関 登録番号774

加入協会：日本証券業協会、一般社団法人金融先物取引業協会、日本商品先物取引協会、一般社団法人第二種金融商品取引業協会、一般社団法人日本投資顧問業協会

Rakuten 楽天証券